らびっとにゅうず VOL.273 2019/10/23

●○● INDEX ●○●

【頼り合える社会づくり通信】no.10 (2019/10/23)

- 【1 分断線の現状を明らかにする情報】
- 1) 貧困・所得格差間
- ◆(公益社団)フードバンクかながわの活動状況(団体の通信 11 号及びHPから)
- 5) 雇用者間(正規・非正規)
- ◆東海三県(愛知・三重・岐阜) 20代から40代のNPO/NGO スタッフ対象「働き方アンケート(みえNPO ネットワークセンター情報誌から)【新情報】
- 8) 国籍(国民・移民・外国籍)
- ◆不就学2万人の可能性 外国人の子、文科省初調査(文部科学省9月27日公表)
- ◆かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク facebook から抜粋 かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク学習会 「外国人労働者受入の現状と課題~外国人労働者と共に、多文化共生をめざして~」開催報
- ◆『地球号の危機 ニュースレター』「移民の増大とニューヨーク(基本統計) 岡部一明」 から抜粋【新情報】
- 9) 政治意識 及び10) 市民意識
- ◆横浜市の IR を巡る状況について(新聞報道等から)【新情報】
- 11) その他社会全般
- ◆いじめ最多2万5千件平成 (30 年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等調査)【新情報】
- 【 2 地域での関係やつながりを創造(再生)する活動】
- 1) 地域全般・制度全般
- ◆かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク(かなこんネット)【新情報】 「地域における8050問題の支援のあり方を考える」
- ◆いま、「協同」創る 2019 年全国集会 in kanagawa ちがいが おりなす 豊かな未来 【新情報】
- ◆講演会 <私>時代のデモクラシー ~市民による新たなアソシエーション活動を拓くために~【新情報】
- ◆教科書・市民フォーラム主催 2019 年度企画・特別講演【新情報】 戦争孤児たちの戦後史—『駅の子』の実相をどう伝えるかー
- ◆令和2年税制改正要望に「資産寄付税制」改善が盛り込まれる!
- ◆シーズ活動報告会「どうなる!?資産寄付税制&NPO 法改正」【新情報】

- 2) まちづくり
- ◆「カジノを考える市民フォーラム」の結成と第1回講演会のお知らせ【新情報】
- ◆横浜地方自治研究センター総会記念講演 「カジノ問題から見る横浜の過去・未来」【新情報】
- ◆港南台タウンカフェ地域元気フォーラム【新情報】
- ◆まちのひろばフェス 2019 開催!!
- ◆湘南邸園文化祭 2019 を開催します!
- ◆横浜市民活動支援センター事業終了(2020年3月末)のお知らせ
- 3) 居場所づくりの活動
- ◆コミュニティカフェ開設 連続講座 人が集まる居場所のつくり方 【新情報】
- ◆フードドライブに参加しよう! (フードバンクかながわ)
- ◆フードバンクに関する政策研究会第3回
- ◆緊急のお願い 食用油が不足してます!
- 4) 高齢者福祉・介護の活動
- ◆第33回ニッセイ財団シンポジウム 高齢社会を共に生きる
- ◆介護カフェ 今はまだでも…話そう介護の不安!【新情報】
- ◆第 363 回 定例セミナー(日本フィランソロピー協会)【新情報】 【施設訪問】社会インフラとしての老人ホームに学ぶ高齢者問題
- 5) 障がい者福祉
- ◆高次脳機能障害を知ってください 講演会 PART2【新情報】
- ◆第 46 回「県民の集い」in 平塚【新情報】 (神奈川県精神保健福祉家族住民交流事業) 【新情報】
- 7) 外国籍市民との共生の活動
- ◆シンポジウム「難民が開く日本社会」(上智大学大学院国際関係論専攻)【新情報】
- ◆外国人住民が抱える課題と社会参加を考える
- ◆第9回「市民社会創造ラボ」開催
- 8) アート活動
- ◆障害福祉と文化芸術の関わりを考える勉強会"わたし"と"あなた"の関係づくり
- ◆アートと考える 子どもが育つ場所のこと【新情報】
- 9) 子ども・若者・女性の支援
- ◆講演会 地域のまなざしと『ひきこもり』【新情報】 〜地域で孤立しがちな青少年・若者へのまなざし〜
- ◆研究フォーラム 子ども一人ひとりが幸せに生きられる社会とは【新情報】 ~共に生きる地域の力を育む~
- ◆こどもゆめ横丁 2019
- ◆こども未来セミナー

- ◆日本語学習者・支援者のための集い(あーすぶらざ) ~外国につながりを持つ子どもの居場所づくりと教育を共に考える~
- ◆フリースペースって、どんなとこ? (たまりば)【新情報】
- 10) 様々なネットワークの活動
- ◆第15回ひらつか市民活動センターまつり 【新情報】
- 11) 市民基金・寄付の活動
- ◆遺贈寄付相談・市民ネットの開設(かながわ生き活き市民基金等)【新情報】
- 12) 人権・平和の活動
- ◆映画 沈黙一立ち上がる慰安婦 【報告】
- ◆上映会 西から昇った太陽【新情報】 (第五福竜丸の被ばくを描くアニメーション映画)
- ◆新冊子発行記念・原子力空母シンポジウム 「原子力に不安」に声にどう答えるか【新情報】
- ◆企業向け 働き方改革等対応セミナー【新情報】
- 13) 住宅支援の活動
- ◆令和元(2019) 年度 住宅地持続創生セミナー【新情報】
- 14) 環境・エネルギーの活動
- ◆海洋汚染とプラごみを知ろう 第25回 桂川・相模川流域協議会【新情報】
- ◆丹沢ブナ党シンポジウム 【新情報】 今、山と人生について考える一私たちにとって山とは一
- ◆環境教育関東ミーティング 2019 【新情報】 集まれ!環境教育のなかまたちーコラボレーションで新しい未来を創り出そうー
- ◆「つなげよう、支えよう森里川海」 プロジェクト【新情報】
- 15) マイノリティ支援の活動(LGBT等)
- ◆『知ってほしい 一人ひとりの子どもの声 ~マイノリティの子どもたちのリアル~』【新 情報】
- 【3 市場経済の原理だけで形成されない新しい働き方】

【さまざまな催し】

- ○BUSINESS to NPO World 2019 【新情報】
- ○『港南台 にちようマルシェ』【新情報】
- ○子どもを愛した画家 いわさきちひろ ピエゾグラフ展
- ○デフ・パペットシアター・ひとみ/人形劇「河の童-かわのわっぱ-」【新情報】

【募集】

(署名募集)

- ○ヒバクシャ国際署名募集中!! (報告あり)
- ○腹膜・心膜・精巣鞘膜中皮腫におけるニボルマブ (オプジーボ) 使用についての署名のお 願い

(受講生・参加者募集)

- ○地域活動スタートアップ講座(かながわコミュニティカレッジ)受講生募集 (派遣者募集)
- ○第19期日米草の根交流コーディネーター派遣プログラム【新情報】
- ○マレーシア ペナンでの植林と、人びとの暮らしと歴史を学ぶツアー【新情報】

【助成】

- ★NPO 基盤強化・人材育成
- ○2020年度 次世代リーダーの育成活動に対する助成事業【新情報】
- ★コミュニティ
- (公財) 大阪コミュニティ財団 2020 年度助成【新情報】
- ○よこはまふれあい助成金 (横浜市社会福祉協議会)【新情報】
- ○第21回社会貢献基金助成募集((一財) 冠婚葬祭文化振興財団)【新情報】
- ○「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム|助成団体の募集
- ○2019年度の「住まいとコミュニティづくり活動助成」
- ★子ども・若者・女性
- ○かながわ生き活き市民基金「第13期福祉たすけあい基金(スタート助成)」
- ○子どもゆめ基金助成

★環 境

- ○地球環境基金助成【新情報】
- ○コスモ石油エコカード基金【新情報】
- (一財) セブンーイレブン記念財団 2020 年度環境市民活動助成

【頼り合える社会づくり通信】no.10 (2019/10/23)

- ◎アリスセンターはこれまでの「らびっとにゅうず」に特集のページを加え、テーマと地域により密着し、共有と交流、発信的なスタイルを持った「頼り合える社会づくり通信」を発刊します。ご愛読お願いします。
- ○情報は、このテーマに取り組んでいる神奈川県内や全国規模で活動して団体や活動をリストアップして定点的に情報収集や取材を行い情報発信していきます。今後は、結果報告つ

いても、可能な範囲でフォローしていきたいと思いますので、団体の皆様におかれましては、活動情報と併せて結果について、アリスセンターあて (office@alice-center.jp)、是非お送りください。お待ちしております。

- ○リストアップの3つの視点
- 1分断線の現状を明らかにする情報(活動)※1
- 2地域での関係やつながりを創造(再生)する活動※2、
- 3市場経済の原理だけで形成されない新しい働き方

※1 分断線

1) 貧困・所得格差間 2) 受給者間(教育・福祉・介護・保育等) 3) 世代間(若者と高齢者) 4) 地域間(都会と地方)5) 雇用者間(正規・非正規) 6) 男女(性差)7) 入居者間(公営住宅) 8) 国籍(国民・移民・外国籍)9) 政治意識(人権意識、政治的急進主義と穏健寛容派等) 10) 市民意識(他者への無関心と他者への関心、信頼と不信感等)、11) その他社会全般

※2 地域での関係やつながりを創造(再生)する活動

1)地域全般・制度全般、2)まちづくり(弱者の視点からの防災・見守り合い・協働の活動、協議会型住民自治組織、元気な参加型地域づくり・シェアリングエコノミー) 3)居場所づくりの活動(子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク) 4)高齢者福祉・介護の活動 5)障がい者福祉(発達障がいや子育て等の孤立化防止活動、パラスポーツ等) 6)多世代参加型子育ての活動 7)外国籍市民との共生の活動 8)アート活動(障碍者・地域等との協働等)9)子ども・若者・女性の支援 10)様々なネットワークの活動 11)市民基金・寄付の活動 12)人権・平和の活動 13)住宅支援の活動 14)環境・エネルギーの活動 15)マイノリティ支援の活動(LGBT等)

1 分断線の現状を明らかにする情報(活動)

*分断社会の現状を明らかにする情報なので、段々、情報を積み重ねて、地域や社会の課題を見える化していきたいと思い配信しています。

必要に応じて更新・編集は行いますが、基本的に既に配信した情報も残していきます。 そのため、らびっとにゅうずが長文になるかも知れませんので、適宜選択してご覧ください。 よろしくご理解のほどお願いいたします。

1) 貧困・所得格差間

(公益社団) フードバンクかながわの活動状況(団体の通信 11 号及びHPから)

2019 年 8 月現在、食品提供先は 119 団体(行政・社協・社福 40 団体、市民団体(地域のフードバンク、子ども食堂等 79 団体))となっている。

8月は、11団体でフードドライブが実施され、フードバンク倉庫に届いた食品は約1万点、3トン。タニタフィッツミー井土ヶ谷店:693点 137キログラム、JP 労組:119点 84キログラム、自動車総連:54点 24キログラム、横浜銀行 9店舗:125点 34キログラム、ユーコープ(中間回収分):1000点 316キログラム、生活クラブ:2627点 724キログラム、神奈川ゆめコープ(2センター分):2336点 819キログラムなどでした。

9月もユーコープ80店舗や生活クラブや神奈川ゆめコープなどから寄贈予定です。

また、8月は学習会や体験研修が行われ、16団体399名の参加がありました。

アフリカ開発会議に参加中の南アフリカ(大使館)の方も視察に来られました。

■問合せ先 公益社団法人フードバンクかながわ

〒236-0051 神奈川県横浜市金沢区富岡東2丁目4-45

TEL: 045-349-5803/FAX:045-349-5804

e-mail: info@fb-kanagawa.com

5) 雇用者間(正規・非正規)要確認

東海三県(愛知・三重・岐阜) 20代から40代のNPO/NGO スタッフ対象「働き方アンケート」(みえNPO ネットワークセンター情報誌「みえ市民活動・ボランティアニュースリーダー2019秋号|から抜粋)|【新情報】

2017年度に引き続き2018年度も「働き方改善に向けての調査・研究」を目的とした「働き方アンケート」を実施した。

詳細については、HPをご覧ください。

https://www.mienpo.net/vo_news/

- ●対象: 東海三県の NPO・NGO で働く 20 代~40 代の職員(常勤職員・非常勤職員・アルバイトスタッフ)100 名
- ●調査時期:2018年12月3日から2019年2月20日
- ●回答者の状況 (年齢)20 代 16 名、30 代 29 名、40 代 54 名 (性別)男性 32 名、女性 68 名、

(配偶者の有無) 有 60 人、無 40 人、雇用形態 有給常勤 60 名、有給非常勤 31 名 無給 非常勤 4 名他

●設問 就職のきっかけは何ですか?

第1位 知人・友人・家族から声をかけられた 49名

- 第2位 公募されている求人募集 21名
- 第3位 団体の設立や事業の立ち上げ、事業の拡大などに関わっていた 11人
- ●設問 給料(基本給)はいくらですか?
- 第1位 10万円未満 34名
- 第2位 15万円~20万未満 26名
- 第 3 位 20 万円~25 万未満 16 名
- ●設問 現在の給料に満足してますか?
- 第1位 やや不満 35名
- 第 2 位 妥当 28 名
- 第3位 大変不満 17名
- 第4位 やや満足 11名
- ●設問 現在勤務している団体について、今後の働き方を教えてください?
- 第1位 現在勤務している NPO/NGO で働きたい 42名
- 第2位 現在勤務している NPO/NGO と並行して他の組織で働きたい 22 名
- 第3位 あまり考えていない 20名
- 第4位 現在勤務している NPO/NGO を辞めて他の組織で働きたい 8名
- 第4位 独立・起業したい 8名
- ■問合せ先 みえ NPO ネットワークセンター

〒514-0009 津市羽所町 700番地アスト津3階

TEL: 059-222-5995 FAX: 059-222-5971

MAIL: center@mienpo.net

8) 国籍(国民・移民・外国籍)

不就学2万人の可能性 外国人の子、文科省初調査(出典:外国人の子供の教育の更なる充実に向けた就学状況等調査の実施及び調査結果(速報値)について)

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/09/__icsFiles/afieldfile/2019/09/27/1421568 _001.pdf

文部科学省は外国人の子供の就学状況等調査結果(速報)を 2019 年 9 月 27 日に公表しました。それによると、日本に住む外国人の小中学生にあたる子ども約 1 2 万 4 千人のうち、約 2 万人が就学していない可能性があることがわかりました。日本の法的な義務教育制度の対象外のため、日本語指導などの支援が不十分になりがちで、教育委員会が所在を積極的に把握していない子も 1 万人近く(9886 人)いました。政府は外国人材の受け入れを拡大する方針ですが、対応の遅れが浮き彫りになりました。

■不就学の可能性がある子どもが多い都道府県

- (1) 東京都 7898人
- (2) 神奈川県 2288人
- (3) 愛知県 1846人
- (4) 千葉県 1467人
- (5) 大阪府 1457人
- (6) 埼玉県 729人
- (7)静岡県 660人
- (8) 京都府 455人
- (9) 群馬県 412人
- (10) 兵庫県 373人

かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク facebook から抜粋

https://www.facebook.com/kanacon/

かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク学習会

「外国人労働者受入の現状と課題〜外国人労働者と共に、多文化共生をめざして〜」 開催報告

9月5日(木)、「外国人労働者受入の現状と課題~外国人労働者と共に、多文化共生をめざして~」を開催しました。

在留資格一般に関する基礎知識や、外国人労働者受入の現状と課題について、この問題に詳しい飯田学史弁護士(横浜はばたき法律事務所)を講師に迎え、生活困窮者や課題を抱える人たちへの支援を実施する NPO、自治体、関係機関などから約 25 名の方にご参加いただきました。内容については、インクルージョンネットかながわ(かなこんネット幹事団体)のインターン生である長谷しほりさんが、以下のとおり報告してくれました。

「外国人労働者受入の現状と課題―外国人労働者と共に、多文化共生をめざして」の概要と 考察

2019年1月1日現在、日本の人口(労働人口)は前年度に比べ約27万人減少している。 また、2018年末時点における在留外国人数は約273万人で、前年度に比べて約17万人増加している。端的に言えば日本人労働者の人数が減り、外国人労働者の数が増えている。 外国人の在留資格の中で最も前年比が高くなっている、高度専門職という資格は、経済的に裕福、学歴が高いなどをそれぞれ得点化し、高得点を得た者のみに与えられる。

また、日本に来る外国人の中で最も増えているのが、ベトナム・ネパール・インドネシア人である。彼らの多くは、技能実習という在留資格で在留しているという。技能実習とは、「技能または知識の開発途上国への移転を図り、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に

協力することを目的としたものとされている。しかし、実態は「実習」という名のいわば現代の奴隷であるという。安い賃金で単純労働を強いられ、転職の自由がなく、渡航前に送り出し機関によって借金をさせられている為に逃げられず、日本側の協同組合は、労災を隠したり、何か問題が起きると国に送り返したりするものが多いような状況であるという。最長5年のこの資格の趣旨は実習だが、実際は出稼ぎ、労働力不足の解消である。

今年4月に新たに「特定技能」という在留資格が新設され、「真に受け入れが必要と認められる人手不足の分野で、一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材」の受け入れが始まった。これは事実上移民政策であるが、自らの不利益を招かない為に政府はそのように明言はしていない。また、制度は作られたものの、この資格で入国する外国人の権利保障等についてはまだ固まっていない状況であるという。

上記で対象となっている外国人だけでなく、留学生についても表に出てこない問題が多く ある。彼らの受け皿(相談や支援を行う場)をどこに作り、どうやって周知させるのかを考 えていく必要があると述べた。

私は、講師の飯田学史弁護士も述べていたが、「高度専門職」という資格を持てる人を選ぶ際に、外国人を得点化する、ランク付けするということが受け入れ難かった。日本人の間では、個性や属性で人の権利を制限すべきでないと言っているにも関わらず、外国人に対しては平気で行うというのは、不平等であるし、差別であると考える。

また、そもそもこのような環境に外国人労働者がおかれているという事自体が日本人に周知されていないことも大きな問題であると考える。日本人の過労死や労災については大々的にメディアで取り上げられるけれど、日本人のケースよりもはるかにひどく、ひと昔前の話ではないかと疑ってしまうくらいに極悪な環境下で働いている技能実習生の外国人の話題は主だったニュース等ではあまり多くは取り上げられない。メディアで目立って取り上げられず、世間から大々的に非難を浴びないことで、この非人道的な状況が続いているということも、私たちが問題視すべき点であると考える。

労働人口が減少している日本において、今後もより一層外国人が増えていくと推定される。 当然、問題も今以上に増えていくと考えられる。日本らしさを残しつつ、外国人と共生していく為に、彼らの権利保障の制度を確立して行くことが急務であると考える。私は、初歩的なところからであるが、外国人労働者の実情についてより学び、知った上で、問題点を問題であると主張し、社会に訴えていくことが必要であると考えた。

『地球号の危機 ニュースレター 2019 年 10 月発行』「移民の増大とニューヨーク(基本統計)岡部一明」一般財団大竹財団発行を参考に作成【新情報】要確認

2019年1月1日現在、日本の人口(労働人口)は前年度に比べ約27万人減少し、2018年 末時点における在留外国人数は約273万人で、前年度に比べて約17万人増加している。端 的に言えば日本人労働者の人数が減り、外国人労働者の数が増えている。それでは、移民大国と言われるアメリカの移民の歴史・現状はどうなっているか。このことを踏まえ、外国人労働者問題を考えていくことは今後の判断の参考になるかと思い紹介します。

- ●現在の米国人口は約 3 億 2 0 0 0 万人、米国の外国生まれ人口(2016 年)の人口は約 4400 万人で総人口の約 13.5%にあたる。第 1 位は、メキシコ (1157 万人)、2 位はインド、3 位中国、4 位フィリピン、5 位エルサルバドルとなっている。日本は 26 位(約 35 万人)(資料 U.S.Bureau of Census "Place of Birth For the Foreign-Born Population In the United States")
- ●アメリカでは 1960 年代まで差別が的な移民政策が取られ、ヨーロッパ以外からの移民がほとんど途絶えていた。しかし、1960 年代の公民権運動の高まりの中で 1965 年に各国平等受入れを基本とする移民法が成立し、以後、中南米、アジアからなどの移民が拡大した。(岡部一明『多民族社会の到来』お茶の水書房 参照)
- ●1986 年移民法で300万人近い不法移民合法化が行われた。現在、正規移民数は年間約110万人に増えている。主に中南米、アジアなどから移民している。それ以外に、1100万人と推定される未登録外国人が存在する。1990年~1991年の10年間の移民総数は、977万人、2000年~2009年の10年間の移民総数は1022万人となっている。

(資料: U.S.Department of Homeland Security.2016Yearbook of Immigration Statistics.November 2017, Table 2)

■問合せ先 一般財団法人大竹財団

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-1-5 セントラルビル 11F

電話 03-3272-3900 FAX03-3274-1707

E-Mail office@ohdake-foundation.org

URL https://www.ohdake-foundation.org

9) 政治意識 &10) 市民意識

~				
横浜市の IR	(統合型リゾート)	誘致を巡る状況について	(新聞報道等から)	【新情報】

国(政府)はカジノに加えて大きなホテルや国際会議場も備えた IR(統合型リゾート)を全国に最大3か所作ろうとしている。現在、国土交通省の調査に「予定または検討」と回答した自治体は、北海道、千葉市、東京都、横浜市、名古屋市、大阪府・市、和歌山県、長崎県計8地域となっています。横浜市では、誘致をめぐり促進派と反対派の2つの立場の活動や関連する活動が展開されているので、らびっとにゅうずでは、その動きを中心に情報を提供します。

●8月22日 横浜市林市長がIR(統合型リゾート)誘致を正式表明

前回(2年前)の市長選から林市長は、IR(統合型リゾート)について、「白紙」の立場を繰り返してきたが、8月22日に一転して誘致を正式に表明した。

(記者発表資料)

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/seisaku/2019/0822ir.files/0002_20190822.pdf

●9月12日 夜 「誘致反対」に動く市民

横浜市青葉区で「STOP カジノ横浜準備会議」が開催され約 200 人が参加した。呼びかけ 人は、今夏、参議院比例区にれいわ新選組から立候補して落選した大西恒樹氏。市内でカジ ノ反対運動に関わる市民運動のメンバーらが登壇した。市長リコールや住民投票条例の制 定などを訴えた。(カジノ誘致反対横浜連絡会、一人から始めるリコール運動などが参加) (参考 朝日新聞 9 月 15 日朝刊)

●9月13日 夜 「誘致反対」に動く政党

IR 誘致に反対するシンポジウムが立憲民主党県連が開催し200人以上が参加した。講演した静岡大学鳥畑教授(国際金融論)は、横浜市が主張する「年820億から1200億円の増収効果」に疑問を投げかけた。逆に市の財政を圧迫させる懸念があると指摘した。(参考 朝日新聞9月15日朝刊)

●9月17日 市民意向調査 (実施者:神奈川新聞社及び JX 通信社) によると市民の 6 割超 が反対

横浜市が進める IR (統合型リゾート) の誘致について、神奈川新聞社及び JX 通信社により 市民意向調査がその結果が公表された。調査は RDD 法で実施され市内全 18 区の 1034 人 から回答を得た。(神奈川新聞 9 月 17 日朝刊)

それによると、IR 誘致に賛成する市民は、25.7%、IR 誘致に反対する市民は、63.85%だった。

賛成の主な理由は、「市の税収の増加が期待できる」38.81%、「経済効果が期待できる」32.84%、「観光振興につながる」22.39%だった。一方、反対の主な理由は、「カジノが横浜のイメージにそぐわない」30.33%、「治安の悪化が不安」24.32%、「他の政策を優先させるべき」23.57%、「ギャンブル依存症になる人が増えそう」18.77%だった。

また、横浜市が IR を誘致するにあたり、その賛否を問う住民投票を実施すべきか尋ねたところ、7 割超が実施すべきだった。(「実施すべき」53%、「どちからと言えば実施すべき」18.6%)一方、20.3%が実施する必要はないだった。(「実施する必要はない」9.3%、「どちからと言えば実施する必要はない」10.83%)

●9月19日 横浜商工会議所 IR (統合型リゾート) 誘致の要望書提出

横浜商工会議所上野孝会頭は、横浜市長に、「令和2年横浜市政に関する要望書」 を提出した。その中でカジノを含む統合型リゾート (IR) について、横浜経済の活性化につながるように招致実現に取り組むよう以下のとおり要望を行った。

「令和2年横浜市政に関する要望書(抜粋) 2. 世界を代表する観光・MICE 都市の実現に向けて (1) IR (統合型リゾート)の横浜誘致の実現」

http://www.yokohama-

 $cci.or.jp/policy_investigation/policy_proposal/yokohama/pdf/youbousho(yokohama)_R1.pdf$

「当所(横浜商工会議所)では、「人口減少社会が進展する中、持続可能な横浜経済の維持・発展を図るためには、新たな産業と雇用を創出する統合型リゾート(IR)の導入が有効な選択肢であるとの認識に立ち、横浜への IR 導入の実現を図ると共に、横浜らしい IR を推進すること」を目的とした「横浜 IR 推進協議会(仮称)」設立の必要性を認識しております。また、横浜の課題となっている「宿泊観光客の少なさ」の解決や新たな税収確保等により横浜経済を発展させるためにも、IR の導入は有効な方策であると考えております。 横浜市におかれましては、横浜都心臨海部はもとより、横浜経済の活性化に繋がるよう IR の横浜招致を実現していただきたい」

●9月26日 横浜市 統合型リゾート (IR) の市民説明会実施

横浜市の林文子市長は9月26日横浜市議会で、2019年12月から市内18区で統合型リゾート(IR)の市民説明会を

開始することを表明した。12 月には 6 回ほど開催しその他の区もできる早い時期に行う。 市民説明会は、参加者は市の広報で募集し 18 区とも林市長が出席し、IR の制度や経済効果、ギャンブル依存症対策、市財政の現状について自ら説明する。質疑応答も行う。(参考:朝日新聞 2019 年 9 月 27 日朝刊)

●10月16日 横浜市 民間事業者からのコンセプト提案構想案の募集開始

横浜市は、今後想定される人口減少や超高齢社会の進展などによる社会経済状況の変化においても、将来にわたり成長・発展を続けていくための一つの手法として特定複合観光施設区域整備法(平成30年法律第80号。以下「IR整備法」という。)に基づき「山下ふ頭」において特定複合観光施設区域(以下「IR区域」という。)の実現を目指している。このため、IR整備法に基づき策定する実施方針の参考とするため、IR区域の整備を実施する意思を有する民間事業者からコンセプト提案を募集(Request for Concept。以下「RFC」という。)を開始した。提案期限は12月23日。来年1月から3月に市は提案者と意見交換し実現可能な整備条件を詰める。(参考:横浜市記者発表)

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/IR/RFC.html

11) その他社会全般

いじめ最多2万5千件平成 (30 年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等調査)【新情報】

2019 年 10 月 17 日に、神奈川県教育委員会は、県内全公私立小・中・高等学校及び特別支援学校を対象に実施した

「平成30年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査」の調査結果を公表しました。

公表した。https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/ijime-bouryoku/h30kanamonkou.html また、同日に、文部科学省では,全国の児童生徒の問題行動・不登校等について,「平成 30 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」を公表した。全国においても、いじめの認知件数は 54 万を超え、過去最多だった。前年度調査から 12 万 9 555 件 (31.3 %) の 大 幅 な 増 加 だ っ た 。 http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/10/1422020.htm

- 2 地域での関係やつながりを創造(再生)する活動
- 1) 地域全般・制度全般

-_____

かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク(かなこんネット)

研修会・ネットワーク会議 in 小田原(新情報)

「地域における8050問題の支援のあり方を考える」

~町村部地域における生活困窮者支援~

40歳から64歳の中高年者のひきこもりに関する調査が内閣府から発表され、「8050問題」が深刻な社会問題としてクローズアップされています。日本のどの地域でも起こっている問題でありながら、住んでいる地域の特性によって支援のニーズに違いがあるのも特徴です。

そこで、ジャーナリストの池上正樹氏をお招きし、地域における様々な支援の難しさについてお話を伺い、また事例なども共有しながら、支援のあり方を考える機会としての研修会を企画いたしました。この機会に、多くの方にご参加いただきたく、ご案内いたします。

- ●日時: 2019年11月18日(月) 13:00~16:40 (開場 12:30)
- ●会場:小田原市生涯学習センターけやき 大会議室(小田原市役所隣接・小田原駅西口から徒歩約 15 分)
- ●対象:生活困窮者や課題を抱える人たちへの支援に携わる方

●定員:100名 ※参加費無料

●主催:神奈川県・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク

●協力:小田原市・南足柄市・社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

●内容

第1部 研修会、

『地域における8050問題の支援のあり方を考える』

ジャーナリスト 池上 正樹氏

第2部 事例報告

『町村部の生活困窮者支援から見えてきた課題』 神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部 ライフサポート担当課長 金山 京子氏 『町村域を超えて連携する学習支援事業』

社会福祉法人明星会 竹の子ケアセンター所長 佐藤 光夫氏 ハッピー・ONE・STEP コーディネーター 鈴木 康浩氏

第3部

ネットワーク会議

グループディスカッション『町村における生活困難者支援』

★申し込み先

かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク 県央・県西事務局 特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会

★11月5日までに、以下を明記の上、ファックスまたはメールでお申し込みください。 団体名、連絡担当者名、連絡先住所、電話、FAX、E-Mail、参加者氏名、部署・役職等、関 心のあるテーマ(住居・家計・女性・就労支援など)

★当日、参加者名簿(お名前と所属)を配布しますので、支障のある方はお知らせください。 ※この学習会は、かながわボランタリー活動推進基金 21 協働事業負担金対象事業の一環と して実施しております。

●問い合わせ先

かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク

全体事務局 (一般社団法人インクルージョンネットかながわ)

〒247-0056

鎌倉市大船 1-23-19 秀和第 5 ビル 3B

TEL: 0467-47-9291 FAX: 0467-47-9290

e-mail: incl@inclusion-net.jp

•----

いま、「協同」創る 2019 年全国集会 in kanagawa ちがいが おりなす 豊かな未来【新情報】

この集会は、日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会が呼びかけ、「協同」を共通理念とする様々な市民が集い、実践を交流するものとして1987年から2年に一回各地で開催しています。今年は神奈川で行うことになりました。 テーマは「であう つながる いのち~ちがいがおりなす豊かな未来~」として、1日目の全体会ではテレビのコメンテーターとしてもご活躍のフォトジャーナリスト安田菜津紀さんの基調講演とパネルディスカッション、2日目は様々なテーマによる20の分科会が行われ、神奈川だけでなく全国各地の様々な事例が報告されます。

■日時・場所

2019年11月29日(金)全体会 12:10~17:30 神奈川県民ホール

11月30日(土)分科会 9:30~15:30 神奈川大学横浜キャンパス他

- ■参加費 2日通し 4,000 円1日目のみ 3,000 円2日目のみ 2,000 円交流会 6,000 円
- ※ 学生、障がい者は上記の半額となります(交流会を除く)
- ※ 2日目に移動分科会をお選びの場合、移動費用で2~3千円の追加料金がかかります

詳細については、https://kyodo-net.roukyou.gr.jp/2019/ 参照ください。

■申込み先 以下のアドレスから必要事項を記載し申込ください。 https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdS6x5s24H9W4RrGWkvkS_Z0AWIDeBvU T88BBkS-An-jeRszA/viewform

■問合せ先:いま、「協同」が創る 2019 全国集会 in Kanagawa 実行委員会 TEL 045-341-4192 E-mail kyodo2019@roukyou.gr.jp

「市民による新たなアソシエーション活動が開く関係の豊かな社会」連続学習会 <私>時代のデモクラシー~市民による新たなアソシエーション活動を拓くために~ 【新情報】

今日の社会は、一人ひとりが他人と違う<私>の意識を強く持ち自分らしさを追い求める時代であると言えるでしょう。しかし、一方では格差・貧困の拡大等による不確実な将来に対する不安が募る中、個人化、分断化が進み、短絡的に物事を捉える傾向(今だけ、金だけ、自分だけ)や民主政治の危機が強まっていると言えるのではないでしょうか。

こうしたなか、自分が自分らしくあろうとする<私>と他者が尊重される豊かな関係はどうしたら両立できるでしょうか。共通の目的や関心をもつ市民によるアソシエーション活

動や社会的活動による、<私>から<私たち>への取り組みの大切さ可能性や<私>から デモクラシーへの視座について考えたいと思います。奮ってのご参加おまちしています。

■日時:2019年11月11日(月)13:30~15:30

■場所:オルタナティブ生活館301(新横浜駅徒歩7分)

■講師:宇野重規さん(東京大学社会科学研究所教授)

■問い合わせ先

特定非営利活動法人 参加型システム研究所

〒231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル 4F

TEL: 045-222-8720 / FAX: 045-222-8721

e-mail: sanka@systemken.org

0______

教科書・市民フォーラム主催 2019 年度企画・特別講演【新情報】 戦争孤児たちの戦後史―『駅の子』の実相をどう伝えるかー

教育基本法の改悪、問題ある教科書の登場とその採択など、なりふりかまわぬ教育への介入が続いています。一部の利益のための国家づくりが指摘される。そのために強引な政治運営が進んでいます。こうした状況に教科書問題を切り口に取り組んでいる教科書・市民フォーラムでは、総会と講演会を行います。今回は本庄豊さんをお招きして、戦争孤児をテーマにしたお話から子どもたちと社会を考えます。

- ◆日時 2019年11月16日14時から16時30分
- ◆場所 横浜・波止場会館4階(みなとみらい線 日本大通り駅徒歩5分)
- ◆資料代 500円 (大学生・高校生は無料)
- ◆臨時連絡先 教科書・市民フォーラム 090-6021-0429

【速報】認定 NPO 法人シーズ

令和2年税制改正要望に「資産寄付税制」改善が盛り込まれる!

長年要望を続けておりました不動産等の現物資産寄付に関する「資産寄付税制」について、 NPO 法人を所管する内閣府の令和 2 年税制改正要望に、改善に向けた要望を盛り込んでい ただきました!

具体的には下記「みなし譲渡所得の非課税特例(租税特別措置法第 40 条)」 の手続きを簡素化・迅速化できる「承認特例」等を認定 NPO 法人等でも適用できるように する要望です。 【内閣府 令和 2 年度税制改正要望(抜粋)】

◆認定 NPO 法人等に対する現物寄附へのみなし譲渡所得税等に係る特例措置適用の承認 手続きの簡素化と特定買換資産の特例措置の適用

(国税、地方税)

・個人が土地、建物、株式などの財産を認定・特例認定 NPO 法人に寄附する場合、一定の要件を満たすものについては、他の承認特例対象法人と同様の承認特例を適用し、国税庁長官の承認手続きを簡素化するとともに、寄附された財産を公益目的事業の用に供する別の資産に買換えた場合についても、みなし譲渡所得税の非課税の対象とする。

上記のほか、寄付税制関係では

- ・認定 NPO 法人等への寄付金税額控除制度の税額控除率の 45%への引き上げ
- ・国立大学法人の寄付金税額控除対象事業の拡大
- ・一定の博物館への美術品売却・寄付に対する(みなし)譲渡所得の特例創設
- ・PST (相対値基準) 計算式における休眠預金活用制度交付金の扱い整理
- ・企業版ふるさと納税制度の手続簡素化・税額控除率引き上げなどが盛り込まれています。

【内閣府 税制改正要望】

https://www.cao.go.jp/yosan/yosan.html#zeisei

【財務省 令和2年度税制改正要望】

https://www.mof.go.jp/tax_policy/tax_reform/outline/fy2020/request/index.htm

シーズは、これら税制改正要望の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。 引き続きご支援・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。 認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 副代表理事 関口宏聡

6-----

シーズ活動報告会「どうなる!?資産寄付税制 &NPO 法改正」【新情報】

1994年11月5日の設立から、今年でシーズは25周年を迎えます。

7月末に開催した第一回活動報告会に続き、第二回を11月1日(金)に開催します。 前回の報告会以降の動きや最新情報を中心に、7月にお話ししきれなかった部分につ いても詳しく解説しながら、参加者の皆様と意見交換もできれば幸いです。

大好評「資産寄付税制改革推進パンフレット」も配布予定です。

不動産をはじめとした資産寄付に関する税制や、NPO 法改正など、シーズの アドボカシーやロビイング活動にご関心のある皆様、ぜひ、ご参加ください!

■テーマ: 「どうなる!?資産寄付税制&NPO法改正」

■日 時: 11月1日(金) 19:00~20:30 ※18:30 開場

■会 場: 東京ボランティア・市民活動センター 会議室 A

→地図 https://www.tvac.or.jp/tvac/access.html

(東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 10 階)

地下鉄飯田橋駅「B2b」出口直結

J R飯田橋駅徒歩 1~3 分程度

■内 容:

【第一部】報告 (報告者:シーズ副代表理事 関口宏聡)

- ・テーマ 1「資産寄付税制 & NPO 法改正の最新情報」
- ・テーマ 2「フードバンク税制や中小企業診断士制度改正など最近の成果報告」

【第二部】会場との質疑応答や意見交換

(進行:シーズ代表理事 池本桂子)

■参加費: 無料

■定 員:20名(要事前申込)

■詳細・お申込み:http://www.npoweb.jp/?p=16903

■主 催:認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

2) まちづくり

「カジノを考える市民フォーラム」の結成と第1回講演会のお知らせ【新情報】

一般社団法人勁草塾・横浜地方自治研究センター・生活クラブ運動グループ・横浜未来アクション[仮称]の3団体は、10月8日、「カジノを考える市民フォーラム~市民によるカジノ問題情報交流ひろば~」を結成しました。

(目的)

- ◎市民主権の立場から、横浜市の行財政等を学び、今回の誘致について市民一人一人と共に考え行動していくための場づくり
- ◎カジノについて市民の抱いている多くの疑問について、市民の力で情報を「集める」「共有する」「考える」「提案する」ことが必要であり、そのための場づくり

取り組みの基本としては、(1)カジノ問題の学習会・フォーラムの開催、(2)意見広告や「横浜市への提言」など具体化していきたいと考えています。

つきましては、以下の日程で第1回講演会を開催いたします。

カジノ問題を考える講座・第1回「ハーバーリゾート構想を聞く」

- ■日時 10月30日(水) 13:30受付 14:00開会
- ■場所 横浜港運会館(山下ふ頭内) 3 F 会議室 横浜市中区山下町 2 7 9

- ■主催 カジノを考える市民フォーラム
- ■後援 自由民権会議@神奈川(民権かながわ)
- ■定員 100名・先着順(すでに定員近い参加が見込まれていますので、参加希望の方は 問い合わせ先に参加可能かをお問い合わせください)
- ■参加費500円
- ■講演「ハーバーリゾート構想を聞く」
- ■講師 水上裕之氏(横浜港運協会常務理事)
- ■問合せ先

カジノを考える市民フォーラム事務局(斉藤つよし事務所)

Emai t-saitou.jimusho@zd.wakwak.com

*第2回 「カジノ幻想を学ぶ」

日時:11月30日(土)午後

講師:鳥畑与一氏(静岡大学教授)

ワークピア横浜 3F、250 名規模、会費 1,000 円を予定

詳細は、カジノを考える市民フォーラム事務局にお問い合わせください。

•-----

横浜地方自治研究センター総会記念講演

「カジノ問題から見る横浜の過去・未来」【新情報】

- ■日時 11月22日(木) 18:30~19:50
- ■場所 自治労横浜会館 2階 AB 会議室 http://www.j-yokohama.or.jp/jy-map.htm
- ■講師 齋藤 勁 (一般社団法人勁草塾代表理事)

岡 眞人(横浜市立大学名誉教授)

上林 得郎(神奈川県地方自治研究センター顧問)

勝島 行正(前神奈川県地方自治研究センター主任研究員)

- ■参加費 無料
- ■問い合わせ:横浜市地方自治研究センター(担当 掟)

T E L 0 4 5 - 6 6 3 - 3 2 3 2

FAX 045-663-3005

メール ikari@j-yokohama.or.jp

●----

港南台タウンカフェ地域元気フォーラム【新情報】

一緒に考えよう!中間支援について~活動が拡がり、地域がよくなるために~

地域の課題を解決するために、またはもっと住みよく楽しい地域になるように、 区内では様々な団体が活動をしています。

もっと活動しやすくなり、発展していくためには、どんな支援が必要なのでしょう。 みんなで学び合い考えてみましょう。

第1部 パネルディスカッション

■東樹 康雅さん

(藤沢市市民活動推進センター長/元にしく市民活動支援センターセンター長)

■沼 佐代子さん

(元日下地域ケアプラザ所長/コーディネーター)

■齋藤 保さん

(港南台タウンカフェ代表/横浜コミュニティカフェネットワーク共同代表)

○聞き手

■岡野 富茂子さん (港南台生き生きプレイパーク代表/港南区子育て連絡会副代表)

第2部 グループワーク

今後活動がより充実し、地域に貢献していくためには何が必要なのでしょう。 参加者のみなさんで考え、語り合いましょう。

●日 時:2019年11月26日(火) 13:00~16:00

●場 所:港南区福祉保健活動拠点 多目的室

●参加費:無料

●対 象:区内で活動をしている方、区民利用施設職員、行政職員、テーマに関心のある方

●お申込み:お電話・メール・facebook ページでご予約下さい

●主催:港南台タウンカフェ

*この事業は港南区民活動支援センターブランチ事業として開催します。

http://blog.canpan.info/towncafe/

●問合せ先:株式会社イータウン http://www.e-etown.com/

〒234-0054 横浜市港南区港南台 4-17-22 キタミビル 2F

TEL: 045-520-8550 FAX: 045-832-3864

まちのひろばフェス 2019 開催!!

川崎市では「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき「まちのひろば」づくりを進めています。その一環として、まちのひろばフェス 2019 を開催します。

■主催:川崎市

■第1弾 まちを耕す ~地域の居場所「まちのひろば」 ~

■日時:11月4日(土)第1部・第2部 13:30~16:00 交流会(16:45~)

■会場:中原区役所 5 階会議室 定員 100 名(事前申込制)

■内容

・第1部 講演会及びトークセッション 「地域とコミュニティのこれまでとこれから」 講演会では、都市計画やまちづくりに精通し、 実際のまちづくりにも関わっている饗庭教授 (首都大学東京)を講師に迎えます。 その後、地域で活動されている方々を交え、トークセッションを行います。

・第2部 「まちのひろば」の開き方 分科会形式で、市内等で「まちのひろば」を実践している方々から 参加のきっかけや活動内容を聞き、意見交換を行います。

・交流会 ~「まちのひろば」づくり相談会~ (会費500円 ※飲み物、お菓子つき)

■第2弾 地域でつながるこども食堂

■日時:11月9日(土)第1部·第2部 13:30~16:00 交流会(16:15~)

■会場:エポックなかはら7階 大会議室等 定員 100名 (事前申込制)

■内容

・第1部 講演会 「川崎のまちとこども食堂の未来」 全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長で、 こども食堂に精通する湯浅特任教授(社会活動家、東京大学先端科学技術研究センター)を講師に迎えます。

・第2部 湯浅さんの出前ゼミ ~こども食堂のあれこれ~ 神奈川県内を中心に子ども・子育て支援で活躍されている 米田代表 (子どもの未来サポートオフィス) を聞き手に迎え、湯浅教授がこども食堂に関する 質問に対してゼミ形式でお答えします。

・交流会(16:15~ 会費 500 円 ※飲み物、お菓子つき)

■申込方法: 区役所や市ホームページ等に申込書 (チラシ 裏面) がございますので、ご記入の上、10月 25日(金)までに、直接、FAX、メール、郵送でお問合せ先までお申込みください。 申込多数の場合は抽選とし、外れた方のみご連絡いたします。

■お問合せ(平日 8:30-17:15) 〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町 11-2 川崎フロンティアビル 7 階 川崎市 市民文化局 コミュニティ推進部 協働・連携推進課

電話:044-200-1986 FAX:044-200-3800

Eメールアドレス: 25kyodo@city.kawasaki.jp

団体HP: http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/38-1-16-1-1-0-0-0-0.html

•-----

湘南邸園文化祭は、今年で14回目を迎えます。

今年は、14市町を会場に、61の催しを開催いたします。

湘南に残る邸園(邸宅・庭園、歴史的建造物等)を舞台とした、各地域の NPO 等 31 団体による様々な催しを

行いますので、ぜひ会場まで足をお運びください。

- ■日時:2019年9月13日(金)~12月15日(日)
- ■催しの詳細につきましては、下記の湘南庭園文化祭のサイトから湘南邸園文化祭 2019 ガイドブック、または各会場の記事をご覧ください。

湘南邸園文化祭

http://shonan-teien-festival.org/

- ■主催 三崎の町再発見ウォークラリー実行委員会 / 横須賀建築探偵団 / 特定非営利活動法人葉山環境文化デザイン集団 / 山口蓬春記念館 / 葉山東伏見宮別邸サロン / 琴アカデミー / サロンギャラリー明風 / 特定非営利活動法人逗子の文化をつなぎ広め深める会 / 原風景を生かすまちづくりの会 / 鎌倉邸園文化クリエイション / 鎌倉の別荘地時代研究会 / 片瀬腰越津旧鎌倉郡研究会 / 株式会社エンジョイワークス / 特定非営利活動法人旧モーガン邸を守る会 / 善行雑学大学 / 湘南藤沢文化ネットワーク / 盛岩寺昭和文化館 / 茅ヶ崎の文化景観を育む会 / 八幡山の洋館 / 公益財団法人神奈川県公園協会・湘南造園株式会社グループ / 公益社団法人大磯町観光協会 / 大磯まちづくり会議 / まちづくり工房 「しお風」 / 特定非営利活動法人小田原まちづくり応援団 / 小田原邸園文化ネットワーク / 湯河原温泉 ・ 粋な温泉めぐりの会 / 公益財団法人神奈川県公園協押金
- !◆w)◆・・株式会社ランドフローラグループ / 公益財団法人横浜市緑の協会 / 神奈川県登録有形文化財建造物所有者の会 / 特定非営利活動法人神奈川まちづかい塾 / 湘南邸宅文化ネットワーク協議会 ◎共催 | 湘南邸園文化祭連絡協議会 (会長 : 内藤英治) ◎ この事業は、神奈川県(担当 : 都市整備課)との協働により開催しています。

■問合せ先

各プログラムの詳細や申込み \rightarrow 各主催団体にお問い合わせください 湘南邸園文化祭の概要について \rightarrow 湘南邸園文化祭連絡協議会事務局 (邸園文化調査団) tel. 045-341-0087 http://shonan-teien-festival.org/

•	 	

横浜市民活動支援センター事業終了(2020年3月末)のお知らせ

現在、桜木町のみなとみらい 21 クリーンセンタービルにある横浜市市民活動支援センター は、令和 2 (2020) 年 3 月 31 日をもって事業を終了します。

その後、令和2年6月に、現・市民活動支援センターの機能を整理した上で、新市庁舎1階

に「市民協働推進センター」を開設する予定です。

新たに開設する「市民協働推進センター」では、横浜市との共催・後援事業を除き、自主活動のための会議室の貸し出しは行わない予定です。

大変恐れ入りますが、各区の区民活動支援センターや近隣の市民利用施設等をご利用ください。なお、「市民協働推進センター」の利用団体登録やミーティングスペースの利用方法等については、決まり次第、お知らせいたします。

3) 居場所づくりの活動(子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク)

6-----

コミュニティカフェ開設 連続講座【新情報】

人が集まる居場所のつくり方

■内 容

世代や立場の違いを超えて多様なつながりを育む居場所を立ち上げたい方、ぜひ一緒にア イデアをカタチにしていきましょう。

様々な分野の居場所の実践者をお招きし、空間づくり、準備と実際、失敗談や、やっていて よかったと思う瞬間などを深堀りし、

ヒントを得ながら事業プランを作成していきます。

また、府中の実践者にも毎回登壇していただくので、つながりづくりのチャンスにもなります。

誰もがワクワクするような、素敵な居場所の実現のファーストステップのための 7 日間です。

■日 時

11月4日(月・祝) 11月10日(日) 11月16日(土) 11月30日(土) 12月8日(日) 12月14日(土) 12月22日(日) すべて13:15~16:45

- ■会 場府中市市民活動センター プラッツ 6 階会議室 (京王線府中駅南口直結) http://www.fuchu-platz.jp/
- ■参加費 7000円(税込み・全七回分)

※初回の受付時に上記金額をお支払いしてください。(お休みしても、お休み分の返金はありません)

■定 員

25 名 (先着順)

※託児有。各回2名まで。(1歳~就学前) 500円/回

■主 催・協働企画 府中市市民活動センター プラッツ、(公社)長寿社会文化協会(WAC)

■申込/問合せ

申し込みフォーム⇒ http://urx.space/vSYF

府中市市民活動センター プラッツ TEL: 042-319-9703 FAX: 042-319-9714

メール : moshikomi@fuchu-platz.jp (申込専用)、info@fuchu-platz.jp

6______

フードドライブに参加しよう! (フードバンクかながわ) フードドライブ実施予定

- ・現在、ユーコープ常設17店舗で実施中。
- ワールドフードナイト 2019 10/4(終了)
- ・ヨーカードー洋光台店 10/5 (終了)
- ・パルシステム神奈川ゆめコープ 3センター 10/14-25 (終了) 3センター 11/11-22
- ・生協大会 10/23 ワークピア (終了)
- ・ヨコハマ waiwai フェスタ 10/26 場所 日本大通り (終了)
- ・いま、「協同」が創る 2019 全国集会 in kanagawa (神奈川県民ホール)11/29
- ・富士フィルム生協まつり 11/19
- ・パル夢つなごう展 11/16
- ・生活クラブ復興支援まつり 12/7
- ・ユーコープ 2020年1月4日から31日まで全店舗
- ■問合せ先 公益社団法人フードバンクかながわ

団体HP: https://fb-kanagawa.com/ TEL: 045-349-5803/ FAX:045-349-5804

e-mail: info@fb-kanagawa.com

フードバンクに関する政策研究会 (フードバンクかながわ)

第3回「困窮者食支援 ~横浜市社会福祉協議会の 食料支援の考え方と実際」

- ■講師;横浜市社会福祉協議会 地域活動部部長 池田 誠司さん
- ■日時:2019年11月5日(木)16:00~17:30
- ■場所:フードバンクかながわ(金沢区富岡 2-4-45 新杉田からシーサイドライン鳥浜駅 徒歩3分)
- ■主催 (公益社団法人) フードバンクかながわ
- ■申込方法 e-mail 又は電話でフードバンクへ

Tel 045-3495803 e – mail info@fbkanagawa.com

■主催:(公社)フードバンクかながわ

■問合せ先 (公益社団法人) フードバンクかながわ info@fb-kanagawa.com TEL: 045-349-0051

•-----

緊急のお願い 食用油が不足しています

フードバンクかながわでは現在、食用油が不足しています。

賞味期限が2か月以上ある、開封されていない食用油のご提供をお願いします。 ご連絡をお待ちしています。

■問合せ先 公益社団法人フードバンクかながわ

〒236-0051 神奈川県横浜市金沢区富岡東2丁目4-45

TEL: 045-349-5803/FAX:045-349-5804

e-mail: info@fb-kanagawa.com

4) 高齢者福祉・介護の活動

第33回ニッセイ財団シンポジウム 高齢社会を共に生きる

当財団では、高齢社会先駆的事業・地域福祉チャレンジ活動助成の成果を広く社会に還元するため、「高齢社会を共に生きる」という統一テーマでシンポジウムを毎年開催しています。 2019 年度も第33回シンポジウム「高齢社会を共に生きる 地域共生社会の実現に向けた地域包括支援体制構築の戦略—0歳から100歳のすべての人が安心して暮らせる地域づくりをめざして一」を開催します。

■日時: 2019 年 12 月 8 日(日) 12 時 30 分~17 時 00 分

■会場:東京イイノホール (東京都千代田区内幸町 2-1-1)

■内容

・基調講演:公益財団法人テクノエイド協会理事長大橋謙策氏

「社会福祉実践の開拓・変革への挑戦―日本生命財団高齢社会シンポジウムからみた助成事業 40 年の軌跡と検証 |

・実践報告:2017年10月から実践活動助成先2団体からの実践報告

・総合討論:2017年にスタートした委託研究「地域共生社会の実現にむけた地域包括支援体制構築の戦略」について、日本福祉大学研究プロジェクトチームからの報告を行った後、メンバーによる総合討論

■ 参加費: 無料

■定員:700名(先着順)、

- ■募集〆切:11月22日(金)当日消印有効
- ■申込み方法 参加ご希望の方は、官製はがきに郵便番号・住所(通信先)・氏名 (フリガナ)・電話番号・年齢 ・性別・職業をご記入のうえ、下記住 所宛お申し込み下さい。お申し込いただいた方には参加証をお送りしますので、当日必ずご持参下さい。

〒541-0042 大阪市中央区今橋 3-1-7 日本生命今橋ビル 4 階 ニッセイ財団シンポジウム事務局

● 問合せ先: (公財) 日本生命財団 TEL(06)6204-4013 FAX(06)6204-0120 財団HP www.nihonseimei-zaidan.or.jp/index.html

6-----

介護カフェ 今はまだでも…話そう介護の不安!【新情報】

日 時:11月10日(日)10:30~12:30

場 所:ひらつか市民活動センター

主催・問合せ:くらぶママの休日 yume-annai@pal.or.jp

詳細については、https://www.hiratsuka-shimin.net/?p=8783

•----

第 363 回 定例セミナー(日本フィランソロピー協会)【新情報】 【施設訪問】社会インフラとしての老人ホームに学ぶ高齢者問題

高齢者問題は、社会貢献の課題であると同時に、新たなビジネスのヒントでもあります。 課題先進国の日本でも、少子高齢化は喫緊の課題と言えます。超高齢化が進み、すでに総人 口の 1/4 が 65 歳以上。豊かで持続可能な社会のためには、人生の最終章を安心してすごせ る環境の創生が必要です。

一方、認知症対策や介護問題は、個々の問題として捉えるのではなく、人間関係の本質に迫る問題と考えます。

そこは、支援者・被支援者の関係を超えて、まさに異文化交流の現場。

人間は社会から隔離されては生きてゆけない、そこで老人ホームに社会を持ち込む!そんな場所があります。

高齢者施設関係者からは「ラスト・パラダイス」と言われ、入居者が魔法がかかったように 平穏に、心優しく過ごすことができるホーム、それが「シルバーヴィラ向山」です。

ドアのカギ、階段の幅や手すり、食事づくり、地域の子供向けプールの無料開放、高齢者・ 障がい者・外国人も含む多様な介護スタッフ等、さまざまな工夫に満ちた施設経営は、多様 なビジネスや社会貢献のヒントが満載です。

今回は、現場を訪問して、施設運営についてのお話を伺い、またホームの見学も実施致しま

す。

皆様のご参加お待ちしております。

■日時:2019年11月12日(火)

13:30 西武線「豊島園駅」改札集合

14:00-16:00 ホーム訪問

■定員:20 名限定

■会場:シルバーヴィラ向山(豊島区向山3-7-11)

お申込み:下記フォームよりお申込みください。

https://business.form-mailer.jp/fms/392919f7106068

■問合せ先:公益社団法人 日本フィランソロピー協会

担当:藤原美樹

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244 区

TEL: 03-5205-7580 FAX: 03-5205-7585

URL: http://www.philanthropy.or.jp

5)障がい者福祉(発達障がいや子育て等の孤立化防止活動、パラスポーツ等)

•-----

高次脳機能障害を知ってください 講演会 PART2

■日 時:11月4日(月)13:30~15:30

■場 所:済生会湘南平塚病院内 1 階 なでしこホール 詳細については https://www.hiratsuka-shimin.net/?p=8682

■問合せ先: NPO 法人 脳外傷友の会 ナナ平塚地区会 jtbia.higashikawa@nifty.com 0463-31-0436 東川

第 46 回「県民の集い」in 平塚(神奈川県精神保健福祉家族住民交流事業)【新情報】

■日 時:11月13日(水)12:30~16:00

■場 所:平塚市中央公民館 大ホール

詳細については、https://www.hiratsuka-shimin.net/?p=8777

■問合せ先: NPO 法人 じんかれん 045-821-8796 火・木のみ 10:00~16:00

- 6)多世代参加型子育ての活動
- 7) 外国籍市民との共生の活動

•-----

シンポジウム「難民が開く日本社会」【新情報】

主催:上智大学大学院国際関係論専攻

1970年代、日本は戦後初めての本格的な難民受け入れ政策としてインドシナ三国からの難民を受け入れました。外国人労働者問題に注目が集まるなか、先行事例であるインドシナ難民受け入れの40年間をふりかえり、多様化・国際化する日本社会を考えます。

日時:2019年11月9日(土)13:00~18:00

会場:上智大学四谷キャンパ 2 号館 401 室 (東京都千代田区紀尾井町 7-1)

協力:認定 NPO 法人難民を助ける会、社会福祉法人さぽうと 21、インドシナ難民問題研

究会

詳細:https://www.aarjapan.gr.jp/join/event/docs/event1911_2830_flyer.pdf

外国人住民が抱える課題と社会参加を考える

グローバリゼーションに伴い地域の多文化化が進む中、神奈川県ではヘイトスピーチや外国人居住者との共生における様々な課題が見られます。また、2018年12月には外国人労働者の受入れ拡大を目的に出入国管理法が改正されました。 このような背景を踏まえると、今後さらに多文化共生社会を築き上げていくためには、異なる背景を持つ人同士の信頼関係を構築しながら、より良い社会を目指して多様な人と協働する姿勢や意識を育むことが重要ではないでしょうか。

第8次(2018・2019年度)21世紀かながわ円卓会議では、こうした趣旨のもと研究会*1を立ち上げ、神奈川県などの事例を通して研究者や実務家、ジャーナリスト、円卓会議運営委員*2の方々と議論を重ねてきました。そして、今回のシンポジウムでは「地域での活動」という切り口から、外国人住民が多い地域において日本人と外国人の共生を促進する活動をされている方からお話を伺います。

*本ミニシンポジウムは3回シリーズの第1回目です。第2回ミニシンポジウムは「多文化共生に関する教育」について、若い世代のスピーカーから、自身が受けてきた教育等を踏まえつつ、多文化共生社会を築く上で大切な視点についてお話を伺います(12月14日(土)午後開催)。第3回は、2020年2月15日(土)午後に鈴木江理子さん(国士舘大学教授)を招いて2年間のまとめとなる総括シンポジウムを開催します。

◆プログラムの詳細はチラシを参照。

チラシはこちら (PDF) からご覧になれます。

- ●主催 かながわ国際交流財団
- ●日時

2019年11月2日(土)13:00~16:00

●会場

横浜情報文化センター大会議室

https://www.idec.or.jp/shisetsu/jouhou/access.php

JR線・横浜市営地下鉄「関内駅」より徒歩10分/みなとみらい線「日本大通り駅」直結

- ●講師/モデレーター
- ・プラニク・ヨゲンドラ (東京都江戸川区議)
- ·岡崎広樹(芝園団地自治会事務局長)
- · 塩原良和 (慶應義塾大学法学部教授)
- ●定員

30名(先着順) 2019年10月25日(金) 申込み締切

●参加費

無料

●申し込み方法

必要事項をメールまたは FAX でお申し込みください。

【必要事項】

- ・氏名
- 所属
- ・住所(市町村名までで結構です)
- ・電話・FAX
- ・メールアドレス
- ・このシンポジウムのことをどこでお知りになりましたか?
- ○メール: entaku@kifjp.org
- \bigcirc FAX: 046(858)1210
- ●お問い合わせ

TEL: 046-855-1821 かながわ国際交流財団 (西山・清水)

第9回「市民社会創造ラボ」開催

今回は、公益財団法人日本国際交流センター執行理事の毛受敏浩さんをゲストに、日本にお ける外国人受入れと地域社会の未来について考えたいと思います。

■日時 2019年11月18日(月) 18:30~20:30

■会場

日本NPOセンター会議室(千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル地下1階会議室)

■ゲスト

毛受敏浩(めんじゅ・としひろ)さん/公益財団法人日本国際交流センター執行理事

■テーマ

「外国人受入れ新政策と地域社会の未来」

■内容

ゲストに課題提起をしていただいた後に、参加者同士で議論を深めていきます。

■対象・定員

テーマに関心のある方は、どなたでもご参加いただけます。

定員20名(*先着順/定員になり次第に締切)

■参加費

2,000 円 (日本 N P O センターの正会員は 1,500 円 * 当時、受付にてお支払いください。

■お申し込み

以下のフォームでお申し込みください。

https://pro.form-mailer.jp/fms/f31b1543154419

《ゲスト紹介》

毛受敏浩 (公財) 日本国際交流センター執行理事

著書に『限界国家―人口減少で日本が迫られる最終選択』等がある。月刊文藝春秋 2018 年 11 月号の『亡国の移民政策』座談会が年間読者賞となる。

■お問い合わせ

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター(椎野、清水)

100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 245

TEL: 03-3510-0855FAX: 03-3510-0856

8) アート活動

障害福祉と文化芸術の関わりを考える勉強会

"わたし"と"あなた"の関係づくり

昨今、文化芸術の分野においては、障害のある人を含む多様な人たちや地域と関わることについて、多くの注目が集まっています。

この勉強会では、障害のある人の表現活動を支えている人の実践を伺い、障害福祉と文化芸 術がお互いにとってより身近な存在となるためにできることは何か、考えを深めます。

各回ではグループディスカッションの時間も取る予定です。みなさんと一緒に障害福祉と

文化芸術のより良い関わりを探究していきます。

■第1回 身体と身体の出会い(終了)

日時: 2019年9月27日(金)14時~16時

会場:ミューザ川崎シンフォニーホール 市民交流室 (JR 川崎駅徒歩3分)

ゲスト:上村なおか(ダンサー・振付家)

参加費: 500円

■第2回 障害のある人との向き合い方 ~合理的配慮って? (終了)

日時: 2019 年 10 月 23 日(水)19 時~20 時 30 分

ゲスト:又村あおい

(全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員・内閣府障害者差別解消法アドバイザー)

会場: S Tスポット (横浜駅徒歩 10 分)

参加費:500円

■第3回 創作活動を支えるために

日時: 2019年12月5日(木)14時~16時

ゲスト:野崎美樹

(NPO 法人スローレーベル インクルーシブ・プロジェクトマネージャー)

会場:横浜市旭区民文化センター サンハート ミーティングルーム (相鉄線二俣川駅徒歩

1分)

参加費:無料

■第4回 障害のある人の声をきく

日時: 2020年1月27日(月) 19時~20時30分

ゲスト:横浜ピアスタッフ協会 中村麻美

(地域活動支援センターひふみ 施設長)

会場: S T スポット (横浜駅徒歩 10 分)

参加費:500円

■対象

障害者との文化芸術活動に取り組んでいる、もしくは取り組みたいと考えている方。 主に文化施設や芸術団体に関わる方を想定していますが、ご興味をお持ちの方はど なたでもご参加いただけます。

※4回連続のご参加をお勧めしますが、1回ごとのご参加も可能です。

■定員 各回 20 名(先着順、要事前申込)

■お申込み方法

件名を「勉強会参加」として、以下の内容をこちらのメールアドレス (community@stspot.jp) までお送りください。こちらからの返信をもってご予約完了となります。

- (1) お名前(ふりがな)
- (2) ご所属(あれば)
- (3)参加ご希望の回
- (4) 当日連絡用の電話番号
- (5) メールアドレス
- (6) この勉強会に期待すること ※短くて構いませんので、ぜひお知らせください。出来る限り内容にも反映させていきたいと思います。

※参加するにあたって特別な配慮が必要な方は、2週間前までにお知らせください。 ※当日は記録のために写真撮影を行うことがあります。

■お問合せ

認定NPO法人STスポット横浜

地域連携事業部

担当:田中真実、川村美紗

〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-15 横浜 S T ビル 208

TEL: 045-325-0410 FAX: 045-325-0414 MAIL: community@stspot.jp

WEB: https://welfare-stspot.jimdo.com/

ヨコハマアートサイト

◆アートと考える 子どもが育つ場所のこと【新情報】

子どもの豊かな育ちのためには、どんな場が必要でしょう。

また、文化芸術はどんな風にその場に寄り添うことができるでしょう。

未就学児向けアートイベントを企画・運営する LITTLE ARTISTS LEAGUE YOKOHAMA の取組を中心に、子育てを取り巻く市民活動と行政・企業の連携を探ります。

☆日 時:2019年11月24日(日)10:00-11:30

★会 場:港南台タウンカフェ (JR 港南台駅徒歩2分)

☆参加費:無料

☆出 演:望月実音子(LITTLE ARTISTS LEAGUE YOKOHAMA)

原 美紀(認定 NPO 法人びーのびーの)

くぜじゅんき (株式会社ダッドウェイ)

☆【申し込み】

参加申し込みの際は、(1) お名前(2) ご所属(あれば)(3) 連絡先メールアドレスをメ

ール (office@y-artsite.org) または FAX でお知らせください。 ※定員を超えた場合、ご参加いただけないことがあります。

☆[主催・問い合わせ先]ヨコハマアートサイト事務局

[URL] http://www.y-artsite.org

[E-mail] office@y-artsite.org

[TEL]045-325-0410 (ヨコハマアートサイト事務局)

[FAX]045-325-0414

9) 子ども・若者・女性の支援

講演会 斎藤環氏 地域のまなざしと『ひきこもり』【新情報】

~地域で孤立しがちな青少年・若者へのまなざし~

公益財団法人よこはまユースでは保護者の方や地域で青少年に関わる大人などを対象に子 ども・若者を取り巻く現状や身近な課題について理解を深めるために「子ども・若者エンパ ワメントセミナー」を毎年実施しています。

今年度のテーマは「ひきこもり」です。

「ひきこもり」については社会的に関心が高まってきていますが、冷静な知識や理解が足り ているとはまだまだ言えません。

そのような中、当事者や家族が地域社会で孤立しがちな現状があります。

今年度のエンパワメントセミナーでは「ひきこもり」診療の第一人者である筑波大学教授、 斎藤環先生に

「ひきこもり」についての理解や、地域社会はどのように関わっていくべきかという視点から語っていただきます。

日程:2019年11月18日(月)

時間:10時30分~12時(10時開場)

会場:かながわ労働ぷらざ 3 F 多目的ホール

アクセス https://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/l-plaza/access.html

定員:250人(申込先着順)

参加費:無料

申込受付開始: 2019 年 10 月 16 日 (水) 午前 10 時~

申込方法

FAXまたはEメールで

(1)代表者氏名(2)申込者全員の氏名(3)代表者連絡先(電話番号)(4)代表者メールアドレスまたはFAX番号 を明記の上、申込先へ送信してください。

*メールの場合は、件名に「エンパワメントセミナー」と明記してください。

power@yokohama-youth.jp からの返信メールを受信できるようにメールの受信設定の確認をお願いいたします。

【申込書ダウンロード】2019 年度エンパワメントセミナー案内(PDF) 2019 エンパワ広 報用チラシ

問合せ・申込先

公益財団法人よこはまユース

事業企画課(担当:西川)

【電話】 045-662-4170 【FAX】 045-662-7645

【申込みメール】 power@yokohama-youth.jp

【問合せメール】 mn-03@yokohama-youth.jp

6-----

研究フォーラム 子ども一人ひとりが幸せに生きられる社会とは【新情報】 ~共に生きる地域の力を育む~

.....

今、教育現場では、政治的意向や経済優先、競争・学歴重視の方向性が強まる中で、 子どもたちが疎外される状況が起きています。前川喜平氏から誰もがいつでも教育を受けられる権利、学習権を保障し、子どもの学びを豊かにする教育の理念・理想、そして生きる力を育む環境整備、現在進められている教育改革の課題についてお話を伺います。

また、後半のトークセッションでは、本来の意味の教育は、学校だけでなく家庭はもちろん、 地域社会の役割もあります。 次の時代を担う子どもたちと向き合い見守り、孤立させない 地域社会の力を育むに は、私たち一人ひとりがどのような行動に結びつけて行ったらよい のか、講師も交え議論します。

■日 時:2019年12月17日(火)13:00~16:10

■会 場:神奈川公会堂(JR 東神奈川駅下車 4 分)

■参加費:800円(資料代含む()学生/400円) *託児あり

■内容

・基調講演 講師:前川喜平氏(現代教育行政研究会代表、前文部科学省事務次官) 演題 教育と子どもの未来を語る

・トークセッション

加藤彰彦氏 (沖縄大学名誉教授) (パネラー兼コーディネーター) 湊 岳美氏 (スクールソーシャルワーカー、 社会福祉士・精神保健福祉士) 小田鈴子氏 (公財) かながわ生き活き 市民基金理事、 元逗子市副市長) 前川喜平氏 コメンテーター

■主催「研究フォーラム 2019」実行委員会

■申込方法 FAX 又はメールにて事務局の参加型システム研究所へ申込ください。(締め切り 12月5日)

FAX:045-222-8721, e-mail: sanka@systemken.org

■事務局・問合せ先 NPO 法人参加型システム研究所内 〒231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル 4F TEL: 045-222-8720 FAX: 045-222-8721

•-----

こどもゆめ横丁 2019

この秋、いつもの夢パークに「子どものまち」ができる♪

「こどもゆめ横丁」は、"子どもたちの本気、やってみたい気持ちを大事にしたい!!!" という思いから企画したお祭りです。

このまちは、子どもが主役!子どもたちが一生懸命に考えたお店がたくさん出ます。お店は 自分たちの力で廃材を使って建設し、商品も自分たちで作っています。そして、このまちで の買い物には本物のお金を使います。さあ、みんなで「こどもゆめ横丁」に遊びに行こう!!

♪日時: 2019年11月4日(月・祝)11:00~15:00

♪場所: 川崎市子ども夢パーク (JR南武線津田山駅から徒歩5分)

♪問合せ先

川崎市子ども夢パーク

〒213-0033 神奈川県川崎市高津区下作延 5 丁目 30 番地 1 号

電話: 044-811-2001 Fax: 044-850-2059

H P http://www.yumepark.net

子どもみらいセミナー

全国の小・中・高生が受けたいじめ認知件数(2017年度)は41万件、平成29年度に全国の児童相談所が対応した児童虐待件数は13万3,778件(速報値)とそれぞれ過去最多を記録しています。4年目となるセミナーでも継続して、増加の一途をたどる「いじめ」「児童虐待」「子どもの貧困」を取り上げていきます。

■日程・開催場所

セミナー(1)8月18日(日)「いじめストップ!」(横浜中央YMCA)(終了)

セミナー(2)9月29日(日)「虐待の連鎖を止めよう」(ワークピア 横浜)(終了)

セミナー(3) 11 月 18 日 (日) 「子どもの貧困」(ワークピア 横浜)

講師

阿部 彩さん

首都大学東京 人文社会学部人間社会学科社会福祉学教授

高橋 亜美さん

社会福祉法人 子供の家ゆずりは 所長

ナビゲーター

西野 博之

神奈川子ども未来ファンド理事、川崎市子ども夢パーク所長、フリースペースえん代表 著書に『居場所とスクールソーシャルワーク』(山下英三郎氏と共著・子どもの風出版会) 他多数

■時間:14:00~17:00(各回とも)

■受講料:3回連続 5,000円、1回のみ 2,000円

■問合せ先:認定 NPO 法人 神奈川子ども未来ファンド事務局 TEL&FAX 045-212-5825

E-mail info@kodomofund.com https://www.kodomofund.com

日本語学習者・支援者のための集い(あーすぷらざ)

〜外国につながりを持つ子どもの居場所づくりと教育を共に考える〜【新情報】

■内容

午前:基調講演 宮崎幸江教授(上智大学短期大学部·英語科)

午後:ワークショップ・ポスターセッション

■日時:2019年11月4日(月・祝) 10:00〜:17:00

■会場:神奈川県立地球市民かながわプラザ

〒247-0007 横浜市栄区小菅ケ谷1-2-1

■主催:神奈川県立地球市民かながわプラザ あーすぷらざ

■参加費 : 無料

■申込方法: 事前申込(基調講演のみ)来館・電話(045-896-2121)メール (nihongo@earthplaza.jp)で申し込みください。

■問合せ先:詳細については神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)

TEL: 045-896-2121 (代表) に確認ください。

フリースペースって、どんなとこ? (たまりば)【新情報】

認定 NPO 法人フリースペースたまりばが川崎市から委託を受け (現 在は指定管理)、川崎

市子ども夢パーク内に「フリースペースえん」の 開設・運営を始めて、今年度で 16 年目を迎えます。全国でも珍しい公 設民営のフリースペースの実践は注目を集め、毎年多くの視察・見学の 方々が現場に訪れています。

「川崎市子ども夢パーク」や「フリースペースえん」の活動を保護者 を中心に、関心のある方に知っていただくため『フリースペースって、 どんなとこ?』を開催します。この会では、フリースペースで育ち・学んでいる子どもたちの日々の様子をご紹介するとともに、その中で大事 にしている考え方を共有し、「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者 たちの現状を理解していただけたらと思っています。

- ■主催:認定 NPO 法人 フリースペースたまりば
- ■開催日時・ 受付開始日

第 5 回 開催日時 12 月 14 日 (土) 10:00~12:00 受付開始日 11 月 1 日 (金) 第 6 回 開催日時 2 月 15 日 (土) 10:00~12:00 受付開始日 1 月 7 日 (火)

- ■資料代 500 円 (要予約・先着 20 人まで)
- ■対象 保護者・フリースペース(居場所)の活動 に関心のある方など
- 会場 川崎市子ども夢パーク内 多目的室 (2F) (川崎市高津区下作延 5-30-1)
- 問合せ認定 NPO 法人 フリースペースたまりば (電話 044-833-7562) ¥ 詳細について http://www.tamariba.org へ
- 10) 様々なネットワークの活動

0-----

第 15 回ひらつか市民活動センターまつり

テーマは「あなたの参加が地域を育てます!」

第 15 回ひらつか市民活動センターまつり 開催のお知らせお待たせしました!センターが見附町に移転してはじめてのおまつりを 11 月 24 日(日) に開催いたします。住みよいまちづくりを目指して活動する、NPO 法人、市民活動団体が一同に会します!体験コーナー、スタンプラリー、模擬店など楽しい企画がいっぱい!

【日時】11月24日(日)10:00~15:30

【主催】ひらつか市民活動センター、平塚市協働推進課

【場所】ひらつか市民活動センター(JR 平塚駅西口から徒歩 8分)他

詳細については、 https://www.hiratsuka-shimin.net/?p=8592

【問合せ先】ひらつか市民活動センター(〒254 - 0045 平塚市見附町 1-8)

0463-31-7571 (9:00〜22:00)

info@hiratsuka-shimin.net

11) 市民基金・寄付の活動

•----

遺贈寄付相談・市民ネットの開設(かながわ生き活き市民基金等)(新情報)

2019 年 10 月に、未来の生活者運動・市民運動に思いを託す遺贈寄付のプラットフォーム「遺贈寄付相談・市民ネット」がスタートした。

http://www.izo-citizens.net/

このネットワークには生活クラブ生協、福祉クラブ生協、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、ワーカーズ・コレクティブ協会、地球の木、WE21 ジャパン、女性・市民コミュニティバンク、かながわ生き活き市民基金の生活クラブ関連8団体が参加している。

将来的には、同ネットは、ネットワークを広げ、県内の中間支援組織や市民団体にも参加してもらうことを目指している。

■問合せ先及び申込先:かながわ生き活き市民基金内

遺贈寄付相談・市民ネット運営委員会事務局

電話:045-620-9044 E-mail:info@lively-citizens-fund.org

12) 人権・平和の活動

映画 沈黙一立ち上がる慰安婦-【当初呼びかけ】&【実施報告】

【実施報告】

「沈黙 立ち上がる慰安婦」の上映会は、昨年の茅ヶ崎市や横浜市での上映会と同様に街宣車による抗議があったが、約30人の市民が警備にあたり混乱なく終了した。上映会は約180人が鑑賞した。(参考:朝日新聞10月7日朝刊)

【当初呼びかけ】

ハルモニたちは半世紀の沈黙を破って立ち上がった。

韓国・忠清北道に一人で暮らす李玉先(イ・オクソン)さん(90 歳)は、毎朝寺院へ祈祷 へ通う仏教徒だ。

17歳で北満州の日本軍慰安所に連行された李さんは半世紀の『沈黙』を破り 1994年、14人の仲間と日本政府に謝罪と個人補償を求めて来日。被害者だけが集まり直接交渉を開始した。ハルモニたちは 3年にわたり再三来日し、日本軍の犯罪を証言し名誉と尊厳の回復を訴えた。

その闘いに在日朝鮮人2世の女性監督が寄り添い、彼女たちの恨(ハン)を映像に記録した。 あれから20余年、闘いの主人公の多くが亡くなった今、2015年日韓両政府が合意した「解 決」は果たして当事者の問いに答えているのだろうか一。

90年代当事者たちの苦闘を共にした監督朴壽南が密着記録と李さんの人生をつむぎ、生き証人たちの沈黙を未来に伝える。2016年ソウル国際女性映画祭正式出品、DMZ国際ドキ

ュメンタリー映画祭<特別賞>受賞、ソウル老人映画祭正式出品。

117 分に拡大し日本公開版がついに完成。

(映画公式 HP https://tinmoku.wixsite.com/docu)

■日時:10月6日(日)13:30(30分前開場)

■場所:ソレイユさがみセミナールーム (JR・京王橋本駅北口イオン6F)

■主催:「沈黙 立ち上がる慰安婦」相模原上映実行委員会

■料金:協力券 1000 円/当日 1,200 円/大学生以下・障がいのある方 500 円

■問合せ先・申込み 「沈黙 立ち上がる慰安婦」相模原上映実行委員会

電話 090-8042-8157/080-5008-5944

E-mail: eiga.sagamihara@gmail.com

6-----

上映会 西から昇った太陽【新情報】

(第五福竜丸の被ばくを描くアニメーション映画)

1954年3月1日、焼津を母港とするマクロ漁船第5福竜丸の組員たちは太平洋上で巨大な水爆実験を目撃した。「西から太陽が昇ったぞ・・・・!!」

この映画は水爆実験に遭遇するという恐ろしい出来事が漁師たちにもたらした苦悩と人生の困難を、当時を体験した乗組員 3 名のインタビューと 1000 枚を超えるイラストによるストップモーションアニメで再現した。

新作チームは過去の資料や映像、写真だけに頼らない、体験者の生の声を映像化することを めざした。

イラストと CG の独特な味わいと、静かな語りから悲しみが立ち上る、アメリカの若手作家たちによる新しい第五福竜丸の物語である。上映後、市田真理さん(第五福竜丸展示館学芸員)のトークもあります。

■開催日時:2019年11月15日 開始14:00(上映時間:75分)

■開催場所:藤沢市民会館 第一展示ホール(神奈川県藤沢市鵠沼東 8-1)

■参加費:500円(当日700円)

■お問合せ先 ピースリレー・ふじさわ

0466-36-8916(見城) 090-9239-0864 (島田)

新冊子発行記念・原子力空母シンポジウム

「原子力に不安」に声にどう答えるか【新情報】

2015年、「原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会」は、市民アンケート調査を実施しました。回答

で一番多い意見は、「原子力に不安」でした。今回の新冊子発行記念・原子力空母シンポジ ウムでは、「原子力に

不安」に声にどう答えるか テーマに横須賀市議会議員の皆様にもご参加いただき意見交換を行います。原子

力空母配備問題は決して過去の問題ではありません。一緒にこの街の今と明日を考えましょう。

- ■日時 2019年11月9日(土)13:30分~
- ■場所 大滝会館(横須賀中央駅下車徒歩6分) 046-823-0041
- ■資料代 500円(参加者全員に新冊子(カラー32ページ)を進呈)
- ■問い合わせ先 原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会」

〒238-0008 横須賀市大滝町 1-26 清水ビル 3 F 横須賀市民法律事務所方

Tel: 046 - 827 - 2713 Fax: 046 - 827 - 2731

0-----

企業向け 働き方改革等対応セミナー【新情報】

働き方改革関連法の柱の一つとして、本年4月から、年次有給休暇が年10日付与される労働者に対し、年5日を確実に取得させることが全ての企業に義務付けられました。

時間外労働の上限規制については、来年4月から中小企業にも適用が開始されます。

また、パワーハラスメントについては、職場における防止措置について使用者に義務付ける ことを内容とした法改正が、本年5月に国会で成立しました。

今回のセミナーでは、「働き方改革」、「パワーハラスメント」をテーマとして、企業が対応 すべき実務上のポイントについて解説します。

- ■開催日時: 2019 年 11 月 27 日 1:30 PM 4:40 PM
- ■開催場所:藤沢公民館・労働会館等複合施設2階 Fプレイスホール (神奈川県藤沢市本町 1-12-17)
- ■参加費:無料(事前申込制 先着順
- ■お問合せ・申込先 神奈川県かながわ労働センター湘南支所 0463-22-2711

13) 住宅支援の活動

令和元(2019)年度住宅地持続創生セミナー【新情報】

一地域に住み継ぐ知恵を仕組みを考える一

.....

ハウジングアンドコミュニティ財団は、1992年の設立以来、豊かな住環境の創造に貢献することを目的として、NPO法人や市民活動団体に対し、延べ399件の助成を行ってきました。

令和 2 (2020) 年度の公募にあたり、住宅地の持続創生をテーマにしたセミナーを開催し、 合わせて公募助成事業の説明会を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【主 催】:一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

- ◆日時:第1回 令和元(2019)年10月28日(月)13:30~17:00(終了)
- ■テーマ:「住まい・空き家の多様な活用が地域を拓く」
 - ―多様性× 地域力による住まいの新しい可能性の創造―
- ■会場:御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター ROOM C http://solacity.jp/cc/access/

■内容

- ・基調講演「地域に住み継ぐ―住まいとまちとコミュニティの新しい関係」 (東京大学教授 大月敏雄氏)
- ・活動紹介及びパネルディスカッション
- ◆日時:第2回 令和元 (2019) 年11月18日 (月) 13:30~17:00
- ■テーマ「分譲マンション・賃貸住宅―みんなで暮らす持続可能な共住のまち育て」 ―地域で解く住まいの課題・住まいで解く地域の課題―
- ■会場:御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター ROOM C http://solacity.jp/cc/access/

■内容

- ・基調講演 コミュニティを包摂した住まい・まちづくりの新しい展開を探る (法政大学教授 保井美樹氏)
- ・活動紹介及びパネルディスカッション
- ・パネルディスカッション
- ■詳細については、財団 www.hc-zaidan.or.jp/news/view/230 参照

【定 員】: 130名(各会場とも)

【参加費】:無料(事前申込制、定員に達し次第締切)

【お申し込み】: 10月23日(水)までに、1)氏名(ふりがな)、2)所属、3)連絡先、4)参加希望日」を明記のうえ、メール(sumai★hc-zaidan.or.jp(★を@に置き換え))またはFAX(03-6453-9214)でお申し込みください。

■問い合わせ先

一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

〒105-0014 東京都港区芝 2-31-19 バンザイビル 7 階

TEL: 03-6453-9213 FAX: 03-6453-9214

http://www.hc-zaidan.or.jp/

14) 環境・エネルギーの活動

6_____

海洋汚染とプラごみを知ろう 第 25 回 桂川・相模川流域協議会【新情報】

■日 時:11月10日13:00~17:00

■場 所:茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階 コミュニティホール 詳細については、http://katurasagami.net/index.html

■問合せ先:神奈川県事務局 045-210-4352

•

丹沢ブナ党シンポジウム

今、山と人生について考える一私たちにとって山とは一【新情報】

今、丹沢をはじめとして、山に登る人がずいぶん増えてきました。

しかし、見ていると、その様相は以前とは様変わりしています。とりわけ目立つのは、トレイルランナーの増加です。俗にいう山ガール(ボーイ)スタイルで、山中を楽しそうに駆けていく姿が目立ちます。

今年のシンポジウムでは、山への関わり方の変遷を確認し、私たちが生きる上で山に登ることは、どんな意味を持っているのかを考え、オーバーユースと自然の衰退が進む丹沢の現状と、これからの在り方について考えます。

▲日時: 2019年11月24日(日)13:00~16:30分

▲場所:横浜市市従会館(桜木町駅から徒歩 10 分) 横浜市西区宮崎町 2 5 045 - 241-5866

▲内容:記念講演 鈴木澄雄(山岳写真家)「私が見てきた日本の山」)とパネルディスカッション

▲主催・問い合わせ先 丹沢ブナ党

〒223-0051 横浜市港北区箕輪町3-3-8 TEL&FAX 045-563-3953

環境教育関東ミーティング 2019 【新情報】

集まれ!環境教育のなかまたちーコラボレーションで新しい未来を創り出そうー

.....

「環境教育ミーティング」は、環境教育、自然体験活動、野外教育に関心を持っている方々が集まり、実践発表や情報の共有、研修や交流の場として毎年開催されています。1987年に全国ミーティングが清里で始まり、その後地域のネットワークを構築することが重要であることから、地域ミーティングが開催されるようになりました。

「環境教育関東ミーティング」は 2005 年にスタートし、東北との合同ミーティング (2011年) を含め、今回で 16 回目の開催となります。

環境教育の普及、促進を図るためには、何よりも人と人との繋がりとネットワークが大切です。

多くの人から多くのことを学び、それを多くの人に発信していくことが重要です。

そして、ひとりの力ではできないようなことも、多くの仲間と共に達成することができるのです。

ぜひ新たなネットワークづくり、スキルアップの場としてご参加ください。

◇会場

八王子セミナーハウス(東京都八王子市下柚木 1987-1)

◇日程

2020年2月29日(土)~3月1日(日) 「1泊2日]

◇募集期間

10月1日(火)~1月17日(金)

◇参加費 16,000 円 [一泊三食] (早期申し込み3,000 円・学生2,000 円割引あり、 併用あり)

◇対象 学生、個人、行政、企業、教育機関、NPO など環境教育に興味、関心のあるすべての方

- ◇定員 100 名 ※先着
- ◇お申込み方法 2019参加申込ページにてご確認ください。

https://kantomtg.jimdo.com/

- ◇研修主催 環境教育関東ミーティング実行委員会
- ◇お問合せ先

<セミナーに関する問い合わせ>

環境教育関東ミーティング実行委員会 事務局

関東地方環境パートナーシップオフィス (関東EPO)内

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B 1 F

Tel: 03-3406-5180(高橋、山田)

Fax: 03-3406-5064

mail: eekantomtg@gmail.com

URL: http://kantomtg.jimdo.com/

15) マイノリティ支援の活動(LGBT等)

SJF アドボカシーカフェ第 61 回のご案内★

『知ってほしい 一人ひとりの子どもの声 ~マイノリティの子どもたちのリアル~』【新情報】

今年は、子どもの権利条約が国連で採択されてから 30 年、日本政府が条約を批准してから 25 年の節目の年です。

また、国連で持続可能な開発目標(SDGs)が採択され、「誰一人取り残さない」というスローガンが掲げられて4年が経ちました。

子どもの権利条約でも SDGs でも、子ども若者の参加が中心的な考え方となっていますが、 日本社会では、子どもが声を上げることに対して広く受け入れられているとは言い難い状況です。

とくにマイノリティの子どもたちはさまざまな差別にあっているため、安心して意見を言うことが非常に厳しいなかで暮らしています。

国連子どもの権利委員会の日本政府に対する審査でも、マイノリティの子どもへの差別に 対する対策の遅れが指摘されました。

LGBT の子ども、不登校の子ども、外国につながる子どもたちも多くが、差別やいじめを恐れてありのままの自分を出せなかったり、不当な扱いを受けても「No」と言えなかったりしていますが、学校や教員、自治体や社会に対して何を望んでいるのでしょうか。

国際子ども権利センター(シーライツ)が子どもたちと行ってきたワークショップで出された声や、当事者の子どもとかかわる若者の提言を、子どもの権利をベースにして考えたいと思います。

【日時】2019年12月14日(土) 13:30~16:00 (開場 13:00)

【場所】文京学院大学本郷キャンパス(東京都)

【ゲスト】

甲斐田万智子さん(国際子ども権利センター[シーライツ]代表理事)

遠藤まめたさん(にじーず代表/トランスジェンダー当事者)

彦田来留未さん(東京シューレ非常勤スタッフ/自由アーティスト)

【詳細】http://socialjustice.jp/p/20191214/

【問合せ先】認定 NPO 法人まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)

〒160-0021 新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 5F E-mail: info@socialjustice.jp

Tel: 03-5941-7948 FAX: 03-3200-9250

URL: http://www.socialjustice.jp/

Twitter: https://twitter.com/socialjusticef

Facebook: https://www.facebook.com/socialjusticefundjp

【3 市場経済の原理だけで形成されない新しい働き方】

【さまざまな催し】

•-----

BUSINESS to NPO World 2019 【新情報】

今年も、特定非営利活動法人 NPO サポートセンターが「BUSINESS to NPO World 2019」を開催します。

資金調達や組織の運営など、多様な NPO 支援を知り、また導入を考えることができるイベントです。

■日 時: 11月15日(金) 13:00~19:00 ※12:30 受付開始

■会 場: 聖心女子大学グローバルプラザ ※今年は会場が変更されました。

(東京都渋谷区広尾 4-2-24 聖心女子大学 4 号館)

■定 員: 300名

■参加費: 無料

■詳細・お申込み:

イベント特設サイト http://b2n.npo-sc.org/

(NPO サポートセンターのウェブサイト)

『港南台 にちようマルシェ』(港南台タウンカフェ)【新情報】

『港南台 にちようマルシェ』をいつもはお休みの日曜日に臨時オープン します。同時に「港南区まちゼミ」も開講します。手作り体験教室に参加したり、 出店小箱オーナーたちに出会えるチャンス!ぜひご来店ください。

■日時:11月3日(日)10:00~15:00

■場所:港南台タウンカフェ

詳細については、 http://www.e-town.ne.jp/kounandai/topics/7165.html

●問合せ先:株式会社イータウン http://www.e-etown.com/

〒234-0054 横浜市港南区港南台 4-17-22 キタミビル 2F

TEL: 045-520-8550 FAX: 045-832-3864

0-----

(あーす ぷらざ) 子どもを愛した画家 いわさきちひろ ピエゾグラフ展

「子ども」を生涯のテーマとして描いた画家・いわさきちひろ。大正から昭和にかけての激動の時代を生きたちひろは、第二次世界大戦後、絵本や絵雑誌、教科書など、印刷美術の世界で活躍しました。本展では、四季のなかで遊ぶ子どもたちの姿やあかちゃんを描いた代表作のほか、絵本『あめのひのおるすばん』『戦火のなかの子どもたち』など、ちひろの作品50点をピエゾグラフにて展示します。

子どものしあわせと平和を願って描き続けたちひろの世界をお楽しみください。

- ■日時:2019 年 10 月 12 日(土)~11 月 24 日(日) 10:00~17:00 (入場 16:30 まで)
- ■場所:あーすぷらざ 3 階 企画展示室:〒247-0007 横浜市栄区小菅ケ谷 1 2 1 (JR 根岸線「本郷台」駅 徒歩 3 分) HP: www.earthplaza.jp/event/iwasaki-chihiro/
- ■入場料:入場無料主催
- ■問合せ先:神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)

TEL: 045-896-2121 (代表) e-mail: gakushu@earthplaza.jp

•-----

デフ・パペットシアター・ひとみ/人形劇「河の童-かわのわっぱ-」

主催:神奈川県公益財団法人現代人形劇センター

デフ・パペットシアター・ひとみはろう者(deaf)と聴者が共に創作〜後援活動を行う人形劇団。河童と人間のすれ違いや、河童にとっての大切な世界を丁寧に描いて、異なる世界に生きる河童と人間に焦点をあて「共にいきるとは」その本質に迫ります。手話通訳つきのアフタートークもあります。

- ・日時:2019年11月28日(木)14:00開演(13:30開場)
- ・会場:県民共済みらいホール

(横浜市中区桜木町 1-1-8-2 県民共済プラザビル 1 階)

- ・料金:入場整理番号付自由席(税込)
- 一般 3,000 円、子ども (3 歳~高校生) 1,500 円
- ・詳細:https://kyosei-kyoso.jp/hitomi/

【募 集】

(署名募集)

【状況報告】

ヒバクシャ国際署名連絡会は、10月11日に米ニューヨークの国連本部を訪れ、ボリビアの サチャ・ヨレンティー国連総会第一委員会議長に核廃絶を求める1千万筆を超える署名の 目録を提出した。

藤森さん(日本原水爆被害者団体協議会事務局次長)はこれまで多くの人々がそれぞれの想いを込めて署名を集めてきたことを話し、この勢いで来年はもっと大きい数の署名を国連で手渡したいと力強く述べていました。

また、「日本の現政権と核兵器をなくしたいという国民がちぐはぐになっている気がする。 核兵器全廃の機運をさらに高めていきたい」と語った。

その後、ヨレンティー議長は「ぜひ僕にもサインをさせてほしい!」と、その場で署名をされた。

参考: 団体 HP https://hibakusha-appeal.net/news/ny_day3/

署名提出の報道状況 https://hibakusha-appeal.net/news/201910_news/

【募集(前回掲載)】

広島と長崎に原爆が投下されてから70年以上が過ぎました。

しかし、今も9カ国が核兵器を保有し、その数は合計すると1万 5000 発にものぼります。 平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人々が生き地獄を体験しないように、生きている うちに何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。

あなたとあなたの家族、すべての人々を絶対に被爆者にしてはなりません。

国連では、核兵器禁止条約が作られました。すべての国がこの条約に入りすみやかに核兵器 をなくすよう、求めます。

あなたの署名が、核兵器廃絶を求める世界の世論となって国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残します。あなたの署名を心から訴えます。

この署名を呼ひかけた 2016 年 4 月の段階ではなかった核兵器禁止条約か 2017 年 7 月 7 日 に採択されました。これを受け、この署名は核兵器禁止条約にすべての国か加盟することを 求めなから、核兵器の完全廃絶を求めていきます。

現在の署名数

9,415,025 人分 ※2019年4月24日現在

首長からの署名

1,173 市町村 および 20 都道府県

詳細については、ヒバクシャ国際署名HP参照(木) https://hibakusha-appeal.net/about/shomei/

■問合せ先

ヒバクシャ国際署名連絡会 〒105 - 0012 東京都港区芝大門 1-3-5 ゲイブルビル 902

日本被団協内 TEL 03 - 3438 - 1897 FAX 03 - 3431 - 2113 info@hibakusha-appeal.net

腹膜・心膜・精巣鞘膜中皮腫におけるニボルマブ(オプジーボ)使用 についての署名のお願い(2019 年 9 月 30 日現在 7,491 筆の賛同署名)

胸膜中皮腫のセカンドラインの治療薬として、昨年、ニボルマブ(オプジーボ)が保険適用薬として使用されるようになりました。

一方、胸膜中皮腫以外の腹膜等の中皮腫(腹膜、心膜、精巣鞘膜)の患者は非該当とされた ままです。

腹膜等の中皮腫患者は、胸膜中皮腫に準じる治療を受けています。

私達は、腹膜等の中皮腫患者にも胸膜中皮腫と同様の治療の選択肢を一日も早く認めて頂きたいと願っています。

この切実な思いを以下の要望にまとめ、政府、薬品会社、医療者の皆さんに届けたいと思います。

できるだけ多くの中皮腫患者の方々にこの要望に加わって頂きますようお願いいたします。 同時に、患者家族をはじめ、多くの皆さんにご賛同の署名を頂きますようお願いいたします。 2019 年 6 月 7 日

中皮腫サポートキャラバン隊 共同代表 栗田英司・右田孝雄

- ★ご署名は引き続き宜しくお願い致します★ 2019 年 9 月 30 日現在 7,491 筆の賛同署名
- ■ご署名はこちらから

https://asbesto.jp/archives/1384

■主催・問合せ先

運 営:中皮腫サポートキャラバン隊

連絡先:0120-310-279

https://asbesto.jp/toiawase

本 部: 〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町 1-2-11 市民オフィス内

東日本: 〒230-0062 神奈川県横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505

(受講生・参加者募集)

•------

地域活動スタートアップ講座(かながわコミュニティカレッジ)受講生募集

地域活動は、人とつながりながら生き、自分も地域社会も豊かにする楽しさが味わえる活動

です。講座では自分の好きなことや持てる力を生かし、活動を始めるノウハウを学びます。 経験豊富な講師陣が、地域活動のもつ意義や今後の生き方を考える上でのヒントを伝授し ます。

■講座実施期間

令和元年 11 月 20 日 (水曜) から 12 月 11 日 (水曜) まで 全 4 回 詳細な日程およびカリキュラムはこちら (PDF: 1,410KB) ※カリキュラム・講師は都合により変更になる場合があります。

■受講対象者

- ○県内に在住、在勤、在学の方
- ○県内でボランティアや NPO 等として活動をしている方及び団体
- ○県内でボランティアや NPO 等として活動を予定している方及び団体
- ■受講申込期限

2019年11月6日(水曜)

■受講定員

30名

■受講場所

かながわコミュニティカレッジ講義室 他 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター11 階

■受講料

6,000 円

※2回目の現場訪問の交通費は自己負担となります。

■受講料の納付

受講が決定した方には、受講料の納付書をお送りしますので、指定する期日までに最寄の金融機関で納付していただきます(ゆうちょ銀行での納付はできません)。

なお、一度お納めいただいた受講料は、不慮の事故等やむを得ない場合を除きお返しできませんのでご了承ください。

■受講申込方法

受講の申込みについては、住所・氏名(団体メンバーで交代で受講するなど団体での受講を希望する場合は団体名と代表者名)・電話番号をかながわコミュニティカレッジ事務局まで、電話、ファクシミリ、または e-kanagawa 電子申請システムからご連絡ください。

※受講の可否については、募集期間終了後、申し込みされた全員に郵送でお知らせします。

■受講申込先・問い合わせ先

かながわコミュニティカレッジ事務局

〒221-0835

横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター11 階

電話 045-620-0743 FAX 045-620-0745

(派遣者募集)

第 19 期日米草の根交流コーディネーター派遣プログラム(JOI(Japan Outreach Initiative)) 【新情報】

国際交流金日米センターは 2002 年度より、米国の非営利団体ローラシアン協会 と共同で「JOI(ジョイ)(英名: Japan Outreach Initiative、和名: 日米草の根交流コーディネーター派遣)プログラム」を実施しています。

本プログラムは、米国の草の根レベルで日本への関心と理解を深めることを目的に、地域に根ざした交流を進めるためのコーディネーターを 2 年間アメリカに派遣する事業です。活動を通して日本の草の根交流の担い手を育成するのも本プログラムのねらいです。

コーディネーターは、日本との交流の機会が比較的少ない米国の南部・中西部地域の大学などに派遣され、地域の学校や図書館で日本食、学校生活など、日本の幅広い文化を紹介したり、姉妹都市交流や日米学生の交流プログラムなど現地と日本の交流関係づくりに携わります。

- ■2020年8月~2022年7月派遣期間
- ■活動内容

日本の社会や文化に関するプレゼン テーションや、慣習や行事にちなんだ イベント等のコーディネートを通した、 日本と現地の交流関係づくり

■募集説明会

11月6日 (水) [19:00~21:00] 11月17日 (日) [14:00~16:00] 東京 国際交流基金 2階 さくらホール他

■応募締切 2020年1月6日(月)

※詳細はホームページをご確認ください。

http://www.jpf.go.jp/cgp/

■問合せ先 ローラシアン協会 東京事務局 〒153-0064 東京都目黒区下目黒 5-5-17 Tel: 03-3712-6176

0-----

マレーシア ペナンでの植林と、人びとの暮らしと歴史を学ぶツアー【新情報】

ペナン州の小さなカンポン (村) で暮らすマレー人漁師たちの営みを支えるマングローブの 植林と漁村でのホームステイからツアーを始めます。ペナン島では世界からの移民の入り 口として栄えたジョージタウンで、多様な人たちが織りなす賑やかな暮らしや文化を見て、 歩いて、食します。ペナンからイポーを経由してクアラルンプールへと、第二次大戦の日本 軍占領時から現代マレーシアがつくられていく歴史を人びとと歩き、食し、語らい、未来へ とつなげていくツアーです。

■日程 : 2019年12月24日(火)~12月30日(月) 6泊7日

■参加費 : 219,000 円

■申込締切:2019 年 11 月 20 日 (水)

■訪問地 :マレーシア

■現地プログラム企画:特定非営利活動法人パルシック

■旅行企画・実施:株式会社風の旅行社

■受託販売:ピース・イン・ツアー

■ 申 し 込 み ・ お 問 い 合 わ せ 等 、 詳 し く は こ ち ら ⇒ https://www.parcic.org/news/tour/tour_malaysia/15390/

【助成】

★NPO 基盤強化・人材育成

•----

2020年度 次世代リーダーの育成活動に対する助成事業【新情報】

公益財団法人 電通育英会は、2011 年 4 月からは公益財団法人に移行し、以来、「社会有用な人材育成」を目的に、大学生・大学院生への給付型奨学金事業を中心に、各種セミナーや大学教育に資する調査研究など、人材育成を支援する様々な事業を展開しております。 そして、大きく変革する社会に対応できる有用な人材育成を、さらに一歩進めるための事業として、2012 年度より、大学生を中心とした学生を対象とした人材育成に取組んでいる大学学内組織や NPO 法人等の活動(キャリア形成支援、インターンシップ、ボランティア活動など)に対する助成事業を行っています。

- ■助成対象となる団体: ○関東地区及び関西地区の下記の都府県に主たる事務所(拠点)がある大学内ボランティア センター、NPO などの営利を目的としない団体 (法人格の有無は問いません)
- ・関東地区:東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県 ・関西地区:大阪府、京都府、兵庫県、 滋賀県

※大学内ボランティアセンターのような学内組織ではない学生グループの場合は、大学公認または 指導教員がいることを条件とします。 ※法人の場合は1年以上の活動実績があることを条件とします。

- ■対象となる助成期間 2020 年 4 月 1 日 (水) ~2021 年 3 月 31 日 (水)
- ■助成金額 1件(一団体)あたりの上限金額は 100 万円

■応募方法:2020 年度助成申込書(電通育英会ホームページの助成事業のタブからダウンロードできます)に必要事項を記入の上、必要書類を添えて当財団まで郵送してください。https://www.dentsu-ikueikai.or.jp/

■応募締め切り:2019年12月4日(水) 当財団必着

■<問い合わせ先・応募書類送付先>:

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-4-17 電通銀座ビル 4 階

公益財団法人 電通育英会 事務局 担当:山本

Tel: 03-3575-1386 Fax: 03-3575-1577

Mail: josei@dentsu-ikueikai.or.jp

★コミュニティ

6______

○ (公財) 大阪コミュニティ財団 2020 年度助成【新情報】

大阪コミュニティ財団は、1991 年 11 月に設立されて以来、一般市民や企業・団体からの「志」のこもったご寄付を、名前を付けた基金のかたちでお受けし、そのお志に沿った活動を行っておられる団体等に助成してまいりました。その件数は、これまでに、3,019 件を数え、累計の助成額はおよそ 14 億 5 千万円に上ります。

このたび、大阪コミュニティ財団に設置されている基金のうち、2020 年度助成(2020 年 4 月支給)を公募する基金と金額が決定し、募集を開始することになりました。助成をご希望の方は、本ガイドを参照のうえ、申請をお願いいたします。

様々な分野で、社会貢献活動に真摯に取り組んでおられる皆様からの多数のご応募をお待ちしております。

■応募締切り 2019 年 11 月 25 日(月)(当日消印有効)

詳細については、

2020年度助成・申請者のためのガイド を参照

http://www.osaka-community.or.jp/contents/grant/grant_guide.htm

■問合せ先

公益財団法人 大阪コミュニティ財団事務局 勝山 鱧谷

大阪市中央区本町橋2番8号大阪商工会議所ビル5階

電話 06-6944-6260

FAX 06-6944-6261

E-mail info@osaka-community.or.jp

•-----

令和2年度 よこはまふれあい助成金(横浜市社会福祉協議会)【新情報】

令和2年度よこはまふれあい助成金<地域福祉保健計画区分>の説明会を開催します。

- ■日時:11 月 28 日(木)16 時~
- ■場所:横浜市健康福祉総合センター

詳細についてはこちら

■お問合せ先(社福)横浜市社会福祉協議会 横浜市ボランティアセンター 〒 $2\ 3\ 1-8\ 4\ 8\ 2$ 横浜市中区桜木町 1-1 健康福祉総合センター 8 階 TEL $0\ 4\ 5-2\ 0\ 1-8\ 6\ 2\ 0$ FAX $0\ 4\ 5-2\ 0\ 1-1\ 6\ 2\ 0$ E-mail yvc@yokohamashakyo.jp URL http://www.yokohamashakyo.jp/yvc/

6_____

第21回社会貢献基金助成募集((一財) 冠婚葬祭文化振興財団)

■目的

この基金は、地域の種々の災害の救済、社会福祉事業、環境保全事業など社会貢献活動を行う各種団体等への助成及び社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成を行い、もって日本の生活文化と地域社会の発展に寄与することを目的としています。

■募集要項

- 1. 応募~助成金交付までの流れ
- (1)募集 募集期間: 2019年10月1日~2020年2月末日(必着)

所定の提出書類(別記)を上記期間内に(一財) 冠婚葬祭文化振興財団(以下「冠婚葬祭財団」という。) 社会貢献基金助成 運営事務局までご郵送下さい。

申請様式は冠婚葬祭文化振興財団ホームページ内の社会貢献基金助成のページよりダウン ロードしてください

2. 助成金額及び件数

助成金は、総額およそ1,000万円を目途とし助成を行います。(1件当たりの助成額上限は200万円とします。但し、研究助成事業においては、100万円を上限とします。) 詳細については、団体 HP:http://www.ceremony-culture.jp

■問合せ先

一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団 事務局 助成金担当 03-3500-4211 〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-12 COMS 虎ノ門 6 階

•-----

「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」助成団体の募集

田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラムは、難病患者さんの「生活の質(QOL)向

上」のために、難病患者団体、支援団体が実施する活動への助成プログラム。 10月1日より、第8期(2020年度助成)の募集を開始します。難病患者団体、およびその 支援団体の活動の一助としてご活用ください。

- ■申請締め切り:2019年11月15日(金)当日消印有効
- ■詳細 https://www.philanthropy.or.jp/tenohira/
- ■申請書の送付先・問い合わせ先

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244区

公益社団法人日本フィランソロピー協会内

「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム | 事務局 宛

担当 宮本 栄(みやもと・さかえ)

TEL 03-5205-7580 FAX 03-5205-7585 E-mail tenohira@philanthropy.or.jp

6-----

2019年度の「住まいとコミュニティづくり活動助成」

「住まいとコミュニティづくり活動助成」は、ハウジングアンドコミュニティ財団の自主事業として 1993 年度から開始したユニークな助成プログラムで、市民の自発的な住まいづくりやコミュニティの創出、そして、地域づくり活動を一貫して支援してきました。 2019 年度は、今日の住まいとコミュニティに関する多様な社会的課題に対応するため、「地域・コミュニティ活動助成」と「住まい活動助成」の二本立てとし、それぞれに対して助成を行います。

■助成内容

地域・コミュニティ活動助成

地域づくりやコミュニティを基軸にした広範な市民活動に対する助成

住まい活動助成

住まいや住宅地、団地、マンションなどを活動対象にして今日の多様な住宅問題に取り組む 市民活動に対する助成

■助成期間および応募期間

助成期間 2019 年 4 月 1 日 (月) ~2020 年 3 月 31 日 (火)

助成金額1件あたり120万円以内

応募期間 2018 年 11 月 12 日 (月) ~2019 年 1 月 8 日 (火) 必着

■応募関係

募集要項

http://www.hc-zaidan.or.jp/pdf/program/oubo2019.pdf

申請書

http://www.hc-zaidan.or.jp/pdf/program/moushikomi2019.docx

- ■申込書提出先/問い合わせ先
- 一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団(助成係)

〒105-0014 東京都港区芝 2-31-19 バンザイビル 7 階

TEL: 03-6453-9213 FAX: 03-6453-9214

http://www.hc-zaidan.or.jp

★子ども・若者・女性

かながわ生き活き市民基金「第 13 期福祉たすけあい基金(スタート助成)」 募集のお知らせ【新情報】

11月15日(金)より、第13期福祉たすけあい基金(スタート助成)の募集を開始いたします。福祉・たすけあいの事業や活動、並びにそれらに関連した人間の生活の質の向上を目的とした自発的な(ボランタリー)な活動に助成します

- ■募集締め切りは、12月13日(金)
- ■説明会の日程

10/31 (木) 15:15 ユニコムプラザさがみはら、ミーティングルーム 5 (相模大野駅中央 口北デッキから 2 分)

11/1 (金) 15:00 横須賀産業交流プラザ (京急汐入駅から1分)

11/2(土)10:00 新横浜オルタナティブ生活館(新横浜から徒歩8分)

11/5 (火) 15:00 生活クラブ生協高津センター(東急田園都市線宮崎台駅から8分)

11/8 (金) 15:00 小田原市民交流センターUMECO (小田原駅東口から3分)

■個別相談日程 11月16日(月)~11月29日(金)10時~17時

土日は除く。但し11月16日(土)14時~17時のみ申込可

公益財団法人かながわ生き活き市民基金事務所(新横浜) ※事前に予約が必要です。 事前相談への参加が必須です。(事前相談への参加がない場合は申請できません)

■募集要項 募集要項は、こちら

申請用紙 申請用紙は、こちら

■問合せ先 公益財団法人かながわ生き活き市民基金

http://lively-citizens-fund.org/

住所:〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6F

TEL: 045-620-9044 FAX: 045-620-9045

mail: info@lively-citizens-fund.org

•-----

令和2年度子どもゆめ基金助成金募集案内

.....

子どもゆめ基金は国と民間が協力して子どもの体験・読書活動などを応援し、こどもの健全 育成を手助けする基金です。

団体HP https://yumekikin.niye.go.jp/

■助成対象 体験活動・読書活動・子ども向け教材開発・普及活動

令和2年度助成活動の募集は、〈一次募集〉と〈二次募集〉に分けて実施し、それぞれの対象となる様式や活動期間、申請期間は以下のとおりです。

- ■申請方法についてはこちらを確認してください。
- ■申請締め切り体験活動・読書活動の申請期間は 10 月 1 日 (火) ~11 月 12 日 (火) です。 ※電子申請は 11 月 26 日 (火) 17:00 まで。

教材開発・普及活動の申請期間は 10 月 1 日(火) \sim 11 月 5 日(火)17:00 までです。 ※電子申請のみ

■問合せ先

子どもゆめ基金部助成課(平日 9:00~17:45) フリーダイヤル 0120-579081 電話番号 03-5790-8117・8118 FAX 03-6407-7720 メールアドレス yume@niye.go.jp

★環 境

2020年度地球環境基金助成募集【新情報】

環境再生保全機構は、国の出資金と民間からの寄付金により基金(地球環境基金)を設け、 その運用益と国からの運営費交付金を用いて、日本国内外の民間団体(NGO・NPO)が 開発途上地域又は日本国内で実施する環境保全活動(実践活動、知識の提供・普及、調査 研 究等)に対し、助成金の交付を行っています。

- 1. 助成対象団体 : 特定非営利活動法人、財団法人・社団法人、任意団体
- 2. 助成対象地域 : 日本国内、開発途上地域
- 3. 応募期間 : 2019 年 11 月 5 日 (火) ~2019 年 12 月 3 日 (火)
- 4. 助成期間 : 2020 年 4 月 1 日 (水) ~2021 年 3 月 31 日 (水)
- 5. 対象となる活動分野 : 幅広い分野の環境保全活動を対象
- 6 助成メニュー :8 種類
- 7. 年間助成金額 :50 万円~1,200 万円(助成メニューにより異なります)
- 8 2019 年度交付実績 : 197 団体、1 件あたり平均約 310 万円
- 9 助成金要望書類:地球環境基金 HP からダウンロードしてください。 http://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/

10. 提出・問い合わせ先:

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部 地球環境基金課

TEL: 044-520-9505 FAX: 044-520-2192

0-----

コスモ石油エコカード基金【新情報】

コスモ石油エコカード基金は、2002年の設立以降、石油エネルギーと関連の深い「地球温暖化問題」をテーマとし、国内外の環境修復と保全を行うプロジェクトに助成をしてきました。 この度、2020年4月からスタートする新しいプロジェクトを公募します。

■募集期間

- ■2019年10月1日(火)~12月15日(日)
- ■助成の対象となるプロジェクト

地球温暖化をはじめとする気候変動防止、抑制に資する地球環境保全活動、啓発活動

■対象地域

国内及び海外(場所は問いません)

※ただし、海外の場合は日本国内に事務所があることを条件とします

- ■助成金 スタートアップ 助成上限 200 万円/年 2020 年 4 月~2021 年 3 月
- ■選考スケジュール 2019 年 12 月 15 日(日) 公募締め詳細については、http://ceh.cosmo-oil.co.jp/kankyo/index.html

(一財) セブン-イレブン記念財団 2020 年度環境市民活動助成

環境市民活動助成は、お客様が募金を通して、地域の環境活動を支援する、市民参加の社会 貢献の仕組みです。

■助成内容(その1)(終了)

緑化植花助成:緑と花咲く街並みをつくる活動の 活動資金を1年間支援します。

清掃助成:ごみのない環境をつくる活動の活動資金を1年間支援します。

■応募期間

2019年10月1日(火)~10月21日(月) ※当日消印有効

■助成内容(その2)

活動助成:自然環境保護など、 市民が主体となって行う環境活動の 活動資金を 1 年間支援します。

NPO 自立強化助成: 安定的に活動を継続できる自主事業の構築・確立をめざす NPO 法人に対し、事業資金・専従職員の 人件費・事務所家賃を原則 3 年間支援します

■応募期間 : 2019 年 10 月 25 日 (金) ~11 月 15 日 (金) ※当日消印有効

■問合せ先:一般財団法人セブン-イレブン記念財団(http://www.7midori.org)

〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8

TEL: 03-6238-3872 FAX: 03-3261-2513 (電話受付時間 9:30~17:00※土・日曜日を除く)

E-mail: oubo.20@7midori.org (2019年10月1日から開設)

※アリスセンターに情報(情報紙や案内チラシ、メール等)を寄せてくれた団体でメールアドレスがわかる団体は、らびっとにゅうずの配信登録をさせていただいております。らびっとにゅうずが不要な場合は、アリスセンター office@alice-center.jp

までお知らせください。

※郵送でいただいた情報もらびっとにゅうずに掲載させていただきますが、らびっとにゅうず掲載希望の情報はできるだけメールで送っていただければ助かります。 らびっとにゅうず掲載希望情報送り先

office@alice-center.jp

よろしくお願いします

○アリスセンターは、市民と地域社会の自立を目指し、市民がまちづくりの主体となるための実践や政策提言を支援しています。市民活動の情報、 NPO の政策提言づくり、NPO や企業、行政の協働などに取り組んでいます。

http://alice-center.jp/wp/

◆◆発行◆◆

特定非営利活動法人 まちづくり情報センターかながわ (アリスセンター) 〒231-0001

横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア

TEL: 045-212-5835 (留守番電話です)

E-mail: office@alice-center.jp

発行人:内海宏